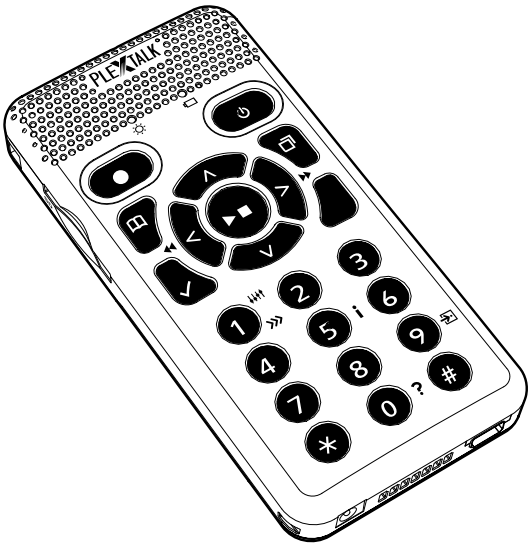
PLEXTALK®

プレクストークポケット　ＰＴＰ１



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

daisy DAISY2.0 compatible

SDHC™

c2008 Shinano Kenshi Co.,Ltd.

IIS
Fraunhofer Institut Integrierte Schaltungen

MPEG Layer-3 audio compression technology licensed by Fraunhofer IIS and THOMSON multimedia.
http://www.iis.fhg.de/amm/

目次

目次.....*2*

諸注意.....*9*

安全にお使いいただくために（警告、注意）.....9

その他の注意事項.....14

使用許諾.....15

1章　はじめに.....*16*

1章1　入っているものを確認しましょう.....16

1章2　各部の名称と働き.....18

1章3　ＤＡＩＳＹとは.....31

1章4　本製品でできること.....32

2章　準備しましょう.....*33*

2章1 バッテリーの入れ方・取り出し方.....33

バッテリーの入れ方.....34

バッテリーの取り出し方.....36

2章2　バッテリーを充電する.....38

2章3 バッテリーに関する注意.....39

バッテリーの寿命とリサイクル.....39

バッテリーの充電について.....39

バッテリーでの再生、録音時間の目安.....39

長期間使用しない場合について.....40

電源を切った状態でのバッテリーの消耗 40

２章４　電源のＯＮ／ＯＦＦ 41

電源を入れる 41

バッテリーの残量の確認方法 42

電源を切る 43

自動電源ＯＦＦについて 43

強制電源ＯＦＦについて 43

２章５ 音量・スピード・トーンの調整 44

音量を調整する 44

スピードおよびトーンの調整 45

２章６　ＳＤカードの準備 46

ＳＤカードの形状 46

使用できるＳＤカードについて 46

ＳＤカードの入れ方 47

ＳＤカードの取り出し方 48

書き込み禁止スイッチ 49

３章　基本操作編：再生 50

３章１ タイトルキーの使い方 50

読みたい本や音楽を選ぶ 50

ＵＳＢ機器やメモ録に切り替える 52

３章２　ＰＴＲ２等から本製品のＳＤカードにデータをバックアップする 54

３章３　ＤＡＩＳＹ図書を聴く 56

再生・停止する 56

早送り、巻き戻しをする 57

３章４　ＤＡＩＳＹ図書の便利な頭出し 58

ＤＡＩＳＹ図書の移動単位 58
上下キーで移動単位を選択 59
見出し移動 60
グループ移動 61
ページ移動 62
フレーズ移動 62
ダイレクト移動：ページに移動する 63
ダイレクト移動：見出しに移動する 64
ダイレクト移動：先頭・最後に移動する 65

３章５　音楽（音声ファイル）を聴く 67
音声ファイルについて 67
音声ファイルの移動単位 67
アルバム移動 68
トラック移動 68
ダイレクト移動：トラックに移動する 69
ダイレクト移動：アルバムに移動する 70

３章６　移動を取り消す（アンドゥ、リドゥ） 71
アンドゥ 71
リドゥ 71

４章　基本操作編：録音 72

４章１　内蔵マイクで録音する 72
録音、一時停止、停止する 72
追加録音する 74
録音準備中に新規タイトルを作成する 75

４章２　メモ録 76
メモ録を録音する 76
メモ録を再生する 77

ダイレクト メモ録 移動 78
選択中のメモ録を削除する 79
すべてのメモ録を削除する 80

5章　データをバックアップする 82

5章1　ＵＳＢ機器から本製品のＳＤカードにデータをバックアップする 84
ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ→ＳＤカード 84
音楽ＣＤ→ＳＤカード 86
ＵＳＢ接続のカードライターのメディア→ＳＤカード 88

5章2　本製品のＳＤカードから他の機器にデータをバックアップする 90
ＳＤカード→ＵＳＢ接続のカードライターのメディア 90

5章3　メモ録をＳＤカードにバックアップする 92
すべてのメモ録→ＳＤカード 92

6章　基本操作編：その他の機能 93

6章1　お休みタイマー 93

6章2　しおり 94
しおりを付ける 95
音声しおりを付ける 96
番号でしおりに移動する 98
前後のしおりに移動する 98
しおりを削除する 99
選択中タイトルのしおりを削除 100
音声しおり再生設定 101

6章3　その他の機能 102
キー説明 102

キーロック 102
ヘルプを聞く 103

7章　パソコンでの応用 104

7章1　データを転送する 104
パソコン→ＳＤカード 104
ＳＤカード→パソコン 106

7章2　テキストファイルを聴く 107
テキストファイルについて 107
移動単位 107
テキストファイル内での移動 108
テキストファイル内でのダイレクト移動 109
テキストファイルの早送り、巻き戻し 109

8章　使いこなし編：録音 110

8章1　録音音量の調整 110
自動音量調整の切り替え 110
録音音量を調整して録音する 111
録音中音量確認 112
録音中音量確認の「あり／なし」 112

8章2　録音設定 113
録音モードと録音音質について 113
録音音質と録音可能時間について 115
録音モードと録音音質の選択 116

8章3　その他の録音設定 117
モニター出力の「あり／なし」 117
録音中の音声ガイドの「あり／なし」 118

8章4　外付けマイクやラインから録音する 119

外付けマイクとライン入力の選択 119
外付けマイクで会議や授業を録音する 120
ラジオやテープの音声を録音する 122
音楽をラインインから録音する 124

9章　使いこなし編：編集 126

9章1　見出しを付ける 126
録音中に見出しを付ける 126
録音後に見出しを付ける 127
録音ポーズ中に見出しを予約する 128
見出しを取り消す 129

9章2　セクション削除 130

10章 使いこなし編:その他の機能 131

10章1　様々な情報を聞く 131
情報を聞く 131
現在の日時を確認する 132

10章2　再生設定 133
ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルの再生設定 133
音声ファイルの再生設定 134

10章3　メディア管理 135
メディア、タイトル情報 135
ＳＤカード内容全消去（フォーマット） 136
新規タイトル作成 138
タイトル削除 139
編集準備 140
ビルドブック 142

10章4　管理 143

設定の初期化 143
プレクストークの情報 145
ガイド音量の選択 146
テキスト読み上げ音声の選択 147
待ち受け音の選択 148
時計設定 149
テキスト読み上げの設定 151
１１章　付録 152
１１章１ メニュー階層一覧 152
１１章２ 音声ファイルの連続再生の順序 155
１１章３ 録音やバックアップで自動的に作られるフォルダ名について 157
１１章４ フォルダ選択について 158
１２章　用語解説 159
１３章　故障かなと思ったら 163
１３章１ 症状と対応のしかた 163
１３章２ よくある質問 Q&A 174
１４章　仕様 176
１５章　動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品 180
１６章　保証について 181
１７章　お問い合わせについて 183
索引 184

諸注意

安全にお使いいただくために（警告、注意）

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告及び注意事項について

⚠警告 ＜警告＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。
⚠注意 ＜注意＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れ又は物的損害が発生する恐れがあります。

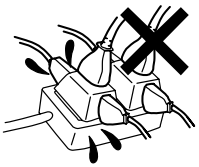
※以下の警告及び注意事項の中で使われる「本製品」という表現には、ＰＴＰ１本体のみならず、バッテリーも含まれます。

※「ＳＤメモリカード」を省略して「ＳＤカード」と表記します。

⚠警告

 電源プラグを抜け	煙が出る、異臭がする等の異常がある場合、そのまま使用すると火災、感電、けが等の原因になります。ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。その際、本体またはバッテリーが高温になっている可能性がありますので、火傷しないように十分注意してください。
 電源プラグを抜け	万一、バッテリーから液がもれたら、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに火気より遠ざけ、販売店にご連絡ください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。 バッテリー液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。液が皮膚や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
 電源プラグを抜け	本製品の隙間から金属物などの異物を入れたり、本製品に水や洗浄液等の液体をこぼしたりしないでください。ショートして火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。異物や液体が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。
 分解禁止	分解、修理、改造をしないでください。火災・感電・故障の原因になり、大変危険です。修理は弊社「お問い合わせ窓口」にご依頼ください。
 水ぬれ禁止	お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告

禁止	付属の電源アダプターや電源コード、弊社指定のバッテリー以外は使用しないでください。また、AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
厳守	電源プラグについたほこりは定期的に清掃してください。その際、電源プラグをコンセントから抜いた後に清掃してください。また、たこあし配線をしないでください。ほこりがたまったり、たこあし配線をしたりすると、火災や感電の原因になります。 
厳守	電源プラグを差し込む際は、プラグ本体を持って根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと火災や感電の原因になります。また、電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ってプラグを抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
禁止	電源アダプター、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟んだり、熱器具を近づけたりするとアダプターやコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
厳守	自動車・バイク・自転車等の乗り物を運転しながら本製品を使用しないでください。交通事故の原因になります。また、歩きながらの使用に際しては、足元や周囲の交通には十分に注意してください。転倒や交通事故の原因になります。

⚠警告

 禁止	ＳＤカードは、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲すると健康に悪影響を及ぼします。誤飲した際は、ただちに医師に相談してください。
 禁止	本製品やＳＤカードを、ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、炎天下の車内等に置かないでください。また、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 禁止	本製品やＳＤカードをたたく、踏みつける、重いものを乗せる、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。また、火の中に入れたり、電子レンジやオーブンなどで加熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 電源プラグを抜け	長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体から取り出しておいてください。
 厳守	お手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布をご使用ください。水や洗剤などの液体が本製品にかからないようにご注意ください。液体が本製品にかかると、火災や感電や故障の原因になります。
 厳守	本体を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。バッテリーの廃棄は「充電式電池リサイクル協力店」にご持参して廃棄してください。

⚠注意

	本製品は長時間使用すると温かくなることがあります。長時間皮膚の同じ場所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがありますので、長時間皮膚の同じ場所に触れないようにしてください。
	長時間ヘッドホンをご使用になると聴覚へ悪影響を及ぼす恐れがあります。長時間の連続使用は避けてください。
	付属のＵＳＢケーブルの金属端子には、鋭利な部分があります。金属部分に触れる際にはケガをしないよう、十分に注意してください。
	ＳＤカードは正しい向きで入れてください。また、出し入れの際、決して無理な力を加えないでください。間違った向きで入れたり、無理な力を加えて出し入れしたりすると故障の原因になります。 本製品のカードスロットはＳＤカードおよびＳＤＨＣカード専用です。それ以外のカードをカードスロットに差し込まないでください。故障の原因になります。
	お手入れの際、シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などを使用しないでください。本製品の表面を痛めてしまいます。

その他の注意事項

電波障害自主規制について

本製品はテストを受けた結果、住宅内での設置による電波障害からの保護を目的として定められたＦＣＣ規格の１５章に従う分類Ｂデジタル装置向けに設けられた規制に合ったものと認定されました。ただし、どのような装置でも電波妨害がまったく生じないという保証はありません。本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは、本製品の電源の ON/OFF を切り替えることで確認できます。本製品が原因の場合は次の方法を試してください。

・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
・本製品と受信機の距離を離す
・本製品と受信機のコンセントを別々にする

バックアップに関する著作権について

本製品によるバックアップは、著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または刑事上の制裁を受ける場合があります。

登録商標について

・ＳＤメモリカード、ＳＤＨＣメモリカードはＳＤアソシエーション(SD Card Association) の登録商標です。
・Microsoft、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の、米国及びその他の国における登録商標または商標です。
・コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。

使用許諾

１．本取扱説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
２．本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
３．本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、弊社までご連絡ください。
４．本製品及び付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
５．本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
６．本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
７．本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行なっておりません。予めご了承ください。

本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、弊社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

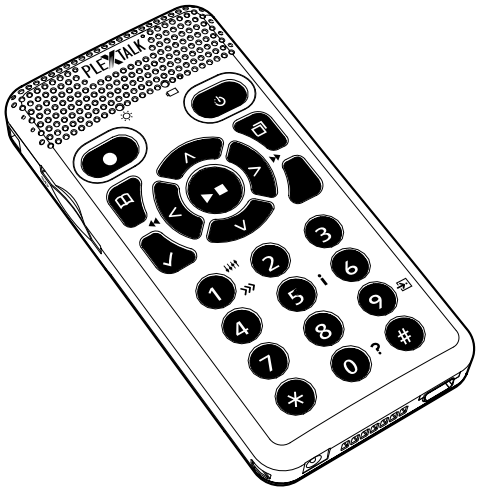
１章　はじめに

１章１　入っているものを確認しましょう

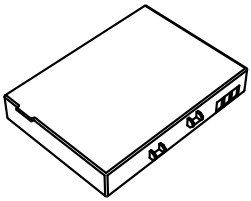
本製品をご使用になる前に、まず以下のものがそろっているか□チェックしながらお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが本製品を購入した販売店までご連絡ください。

お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本製品を安全に輸送する際に必要となることがありますので、大切に保管しておいてください。

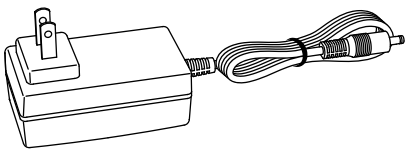
□プレクストーク ポケット（本体）　１台
（ＳＤカード挿入済）



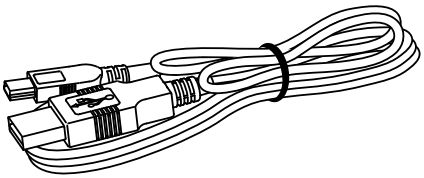
□バッテリー　１個



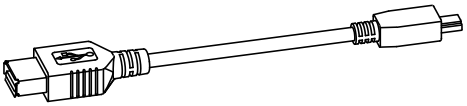
□電源アダプター　１個



☐ＵＳＢケーブル（長）　１本
（パソコンと接続します）



☐ＵＳＢケーブル（短）　１本
（PTR1/PTR2、カードリーダー等
との接続に使用します）



☐イヤホン　１個

☐キャリングバッグ　１個

☑取扱説明書墨字版(本書)　１冊

☐クイックガイド　１枚

☐取扱説明書ＣＤ：DAISY 版　１枚

☐基本操作ガイド音楽ＣＤ版　１枚

☐保証書　１枚

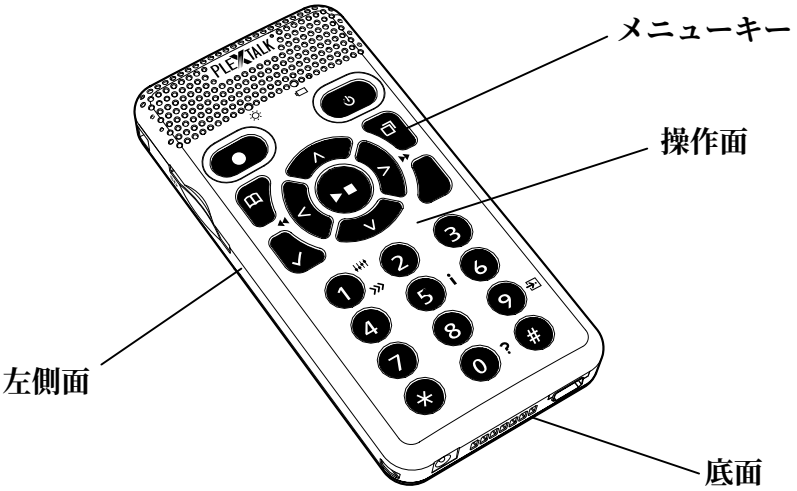
☐動作確認済品一覧　１枚

☐同梱品一覧表（点字）１枚

１章２　各部の名称と働き

本体の形状

本製品を操作するための各種キーが配置されている広い面を「操作面」と呼びます。操作面の中には内蔵スピーカーなどが配置されている網目の部分があります。本製品を操作する際は、網目の部分が上になるようにして持ちます。操作面を正面にして、操作面の上側の面を「上面」、操作面の下側の面を「底面」、右側の側面を「右側面」、左側の側面を「左側面」、操作面の裏側を「背面」と呼びます。

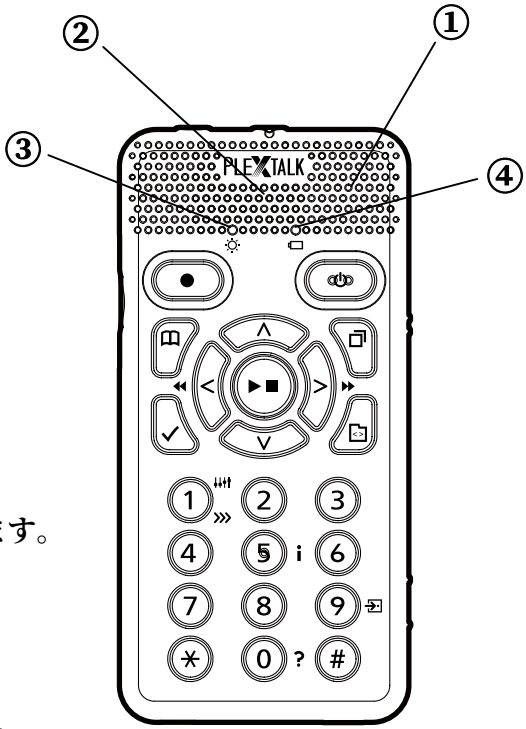


＜ポイント＞

●操作面右上の、二つの突起がある電源キーを長く押して電源を入れ、電源キーのすぐ下の [メニューキー] を約５秒押してから、説明を聞きたいキーを押すと、そのキーの名称が音声でガイドされます。もう一度 [メニューキー] を約５秒押すとキー説明が終了します。

操作面

以下で、各キーの
操作方法を簡単に
説明します。
詳しくは該当する
ページを参照して
ください。



①内蔵スピーカー

操作面最上部右側にあります。
再生音や音声ガイドが
流れます。

②内蔵マイク

内蔵スピーカーのやや左に
あります。
音声などの録音に使用します。

③電源ＬＥＤ

電源が入ると緑色に点灯します。録音中は橙色に点灯し、録音準備中または録音ポーズ中は橙色に点滅します。

④バッテリーＬＥＤ

バッテリーの充電中は赤色に点灯、または赤色と緑色が交互に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。バッテリーや電源アダプターが異常なときには、赤色で点滅します。

⑤電源キー

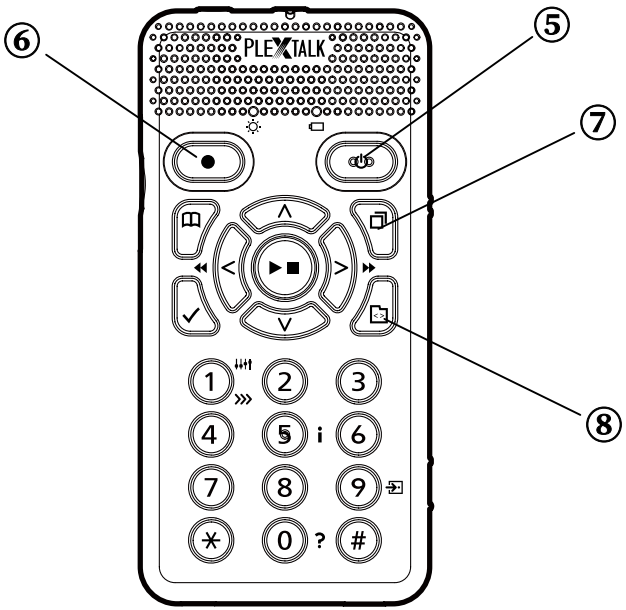
操作面で一番右上にあるキー⑤です。網目の部分のすぐ下にあります。長く押すと電源がＯＮ／ＯＦＦされます。電源が入った状態で短く押すと「お休みタイマー」がはたらきます。

⑥録音キー

操作面で一番左上にあるキー⑥です。網目の部分のすぐ下にあります。１回押すと録音準備状態になり、もう１回押すと録音が始まります。録音中に録音キーを押すと、録音がポーズ（一時停止）となり、もう１回押すと、録音が再開されます。再生・停止キーを押すと録音が終了します。
メモ録をする際は、録音キーを押し続けます。音声ガイドの後に開始音が鳴り、録音が始まります。録音キーから指を離すとメモ録が終了します。（メモ録の詳細は「４章２　メモ録」76 ページ以降を参照してください。）

⑦メニューキー

電源キーのすぐ下にあるキー⑦です。１回押すとメニューに入り、もう１回押すとメニューから抜けます。メニューキーを１回押したら、左右キーで大きな項目を選びます。大きな項目には、「編集」「録音設定」「再生設定」「しおり」「メモ録」「メディア管理」「管理」があります。その中から目的の項目を選び、再生・停止キーまたは下キーで決定します。すると、小さな項目が現れますので、左右キーで小さな項目を選び、再生・停止キーまたは下キーで決定します。後は音声ガイドの指示に従って操作します。操作の途中で、ひとつ前の操作に戻りたい時は、上キーを押すと現在の操作がキャンセルされ、ひとつ前の操作に戻ります。操作の途中で全てをキャンセルしたい時は、メニューキーを押すと全てキャンセルされます。



⑧タイトルキー

メニューキーのすぐ下にあるキー⑧です。メディアやタイトルの変更に使います。タイトルキーを押すごとに、ＳＤカード→ＵＳＢ→メモ録→ＳＤカード、というような順番でメディアが音声ガイドされますので、目的のメディアが音声ガイドされたら次の操作に移ります。次は左キーまたは右キーを押します。押すたびにタイトルが次々と音声ガイドされますので、聞きたいタイトルのところで止まり、再生・停止キーを押すと、そのタイトルが再生されます。ＳＤカードやＵＳＢの場合は、ＤＡＩＳＹ図書→音楽→テキストファイル→ＤＡＩＳＹ図書というような順番でタイトルが音声ガイドされます。

以上のように、まずタイトルキーを何回か押してＳＤカード、ＵＳＢ、メモ録のいずれかに移動し、次に左右キーを何回か押してタイトルを選び、そして再生・停止キーを押して再生する、という手順になります。

⑨移動キー

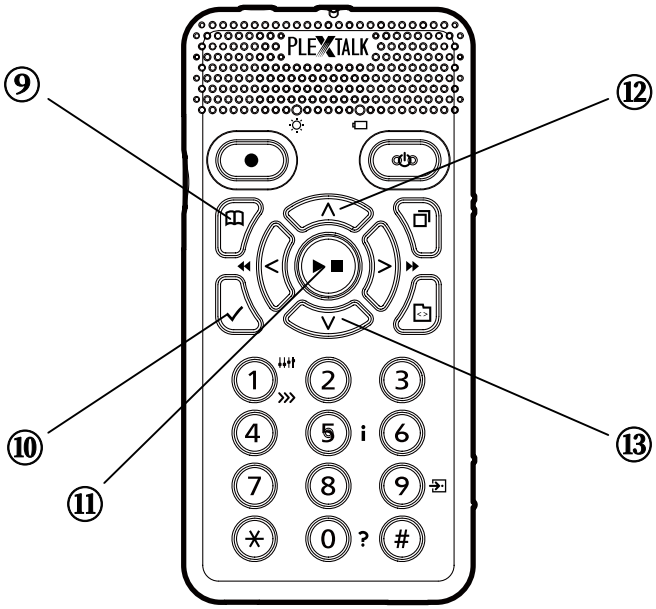
録音キーのすぐ下にあるキー⑨です。目的のページや見出しなどに、ダイレクトに移動する際に使います。ページにダイレクトに移動するには、まず移動キーを１回押し、次にページ番号をテンキーで入力し、最後に再生・停止キーまたは下キーを押して決定します。すると、そのページに移動します。見出しに移動するには、移動キーを２回押し、見出し番号をテンキーで入力してから、再生・停止キーまたは下キーで決定します。
音楽の場合も同様です。曲を選んで聴くには、移動キーを１回押して、何番目の曲かをテンキーで入力し、再生・停止キーまたは下キーで決定します。アルバムに移動するには、移動キーを２回押し、番号を入力してから決定します。

⑩しおりキー

移動キーのすぐ下にあるキー⑩です。しおりを付けたり、しおりへ移動する際に使います。しおりに移動するには、しおりキーを１回押し、しおり番号をテンキーで入力して、再生・停止キーまたは下キーで決定します。しおりを付けるには、しおりキーを２回押し、しおり番号を入力して、再生・停止キーまたは下キーで決定します。しおりを削除するには、しおりキーを３回押し、しおり番号を入力して、再生・停止キーまたは下キーで決定します。

⑪再生・停止キー

メニューキー･タイトルキー･移動キー･しおりキーに囲まれたキー⑪です。再生・停止キーを押すと再生が始まります。もう一度押すと再生が停止します。録音を停止するとき、および録音準備状態や録音ポーズ状態を解除する際にも使います。また、様々な操作を決定する際にも使います。



⑫上キー

再生・停止キーの上にあるキー⑫です。レベル選択や録音音量調整などに使います。また、操作をキャンセルしたり、ひとつ前の操作に戻る際にも使います。ＤＡＩＳＹ図書でレベル移動をする際、上キーを押していくと、フレーズ→ページ→グループ→レベル３→レベル２→レベル１のように移動します。録音音量調整に使う際には、まず自動音量調整を解除してから、録音準備中などの時に上キーを押すと録音音量が上がります。（自動音量調整の詳細は「自動音量調整の切り替え」110 ページを参照してください。）

⑬下キー

再生・停止キーの下にあるキー⑬です。レベル選択や録音音量調整などに使います。また、操作を決定する際にも使います。ＤＡＩＳＹ図書でレベル移動をする際、下キーを押していくと、レベル１→レベル２→レベル３→グループ→ページ→フレーズのように移動します。録音音量調整に使う際には、自動音量調整を「なし」にした後、録音準備中などの時に下キーを押すと録音音量が下がります。

⑭右キー

再生・停止キーの右にあるキー⑭です。再生位置を進める際に使います。また、メニューの選択などにも使います。ＤＡＩＳＹ図書を再生する際、たとえば、上下キーでレベル１（章）を選択して、第１章→第２章→第３章のように先に進みたいときに、右キーを押していくと、ひとつずつ先の章に進みます。上下キーでフレーズを選択している場合は、ひとつずつ先のフレーズに進みます。また、右キーを長く押すと５秒、１０秒・・・と、早送りされます。

⑮左キー

再生・停止キーの左にあるキー⑮です。再生位置を戻す際に使います。また、メニューの選択などにも使います。ＤＡＩＳＹ図書を再生する際、たとえば、上下キーでレベル１を選択して、第３章→第２章→第１章のように前に戻りたいときに、左キーを押していくと、ひとつずつ前の章に戻ります。上下キーでフレーズを選択している場合は、ひとつずつ前のフレーズに戻ります。また、左キーを長く押すと５秒、１０秒・・・と、早く巻き戻されます。

⑯テンキー

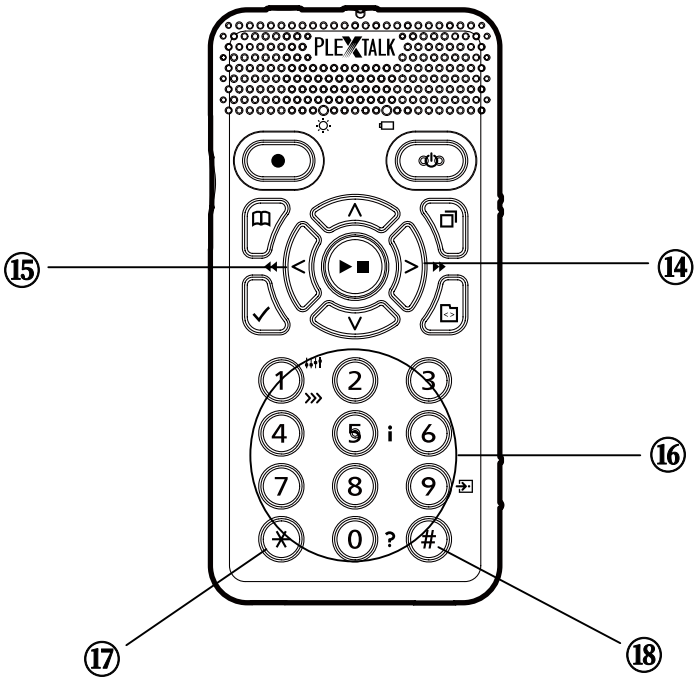
テンキーは下キーの下にあるキー⑯です。電話のプッシュボタンと同じ並びに配列されています。番号の入力に使います。次のような別の用途もあります。１キーはスピード・トーンの変更に、５キーは情報キーとして、９キーはバックアップに、０キーはヘルプキーとして使います。

１キーを１回押した後に、上キーを押すと再生スピードが上がり、下キーを押すと再生スピードが下がります。１キーを２回押した後に、上キーを押すとトーンが上がり、下キーを押すとトーンが下がります。

５キーを押すと現在のタイトルに関する情報を聞くことができます。さらに５キーを押すと、今聞いている情報の次の情報にスキップします。

９キーは、選択したタイトルを別のメディアにバックアップする際に使います。（バックアップの詳細は「５章　データをバックアップする」82 ページ以降を参照してください。）

０キーを押して再生・停止キーを押すと、ヘルプを聞くことができます。ヘルプの内容はこの取扱説明書とほぼ同様の内容になっています。ヘルプを終了するには、もう一度０キーを押します。



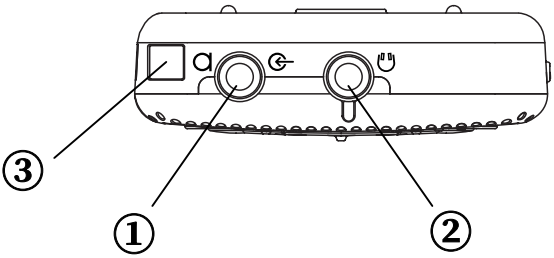
⑰＊キー（アスタリスクキー）

テンキーの一番左下のキー⑰です。アンドゥ、または操作をキャンセルする際に使います。

⑱＃キー（シャープキー）

テンキーの一番右下のキー⑱です。リドゥ、または操作を決定する際に使います。

上面



①外部音声入力端子

操作面を下にして、上面の左側の丸い穴が外部音声入力端子です。外付けマイクおよびラインインの端子を接続します。ステレオ入力です。

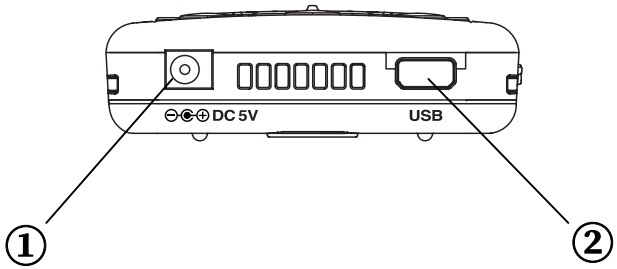
②ヘッドホン出力端子

操作面を下にして、上面の中央の丸い穴がヘッドホン端子です。ヘッドホンを接続します。ステレオ出力です。

③ストラップ穴

操作面を下にして、上面の一番左側の四角い穴がストラップ穴です。市販のストラップを通すための穴です。

底面



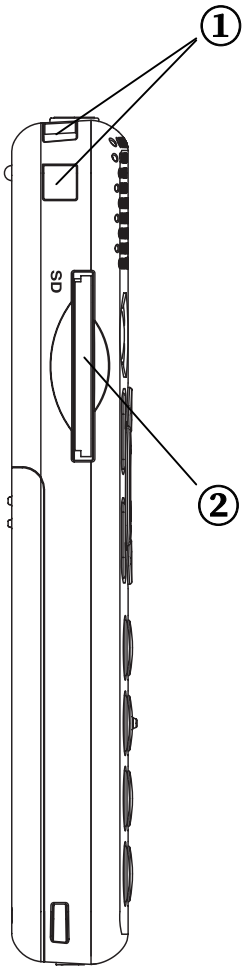
①ＤＣ入力端子

操作面を上にして、底面の左端の穴がＤＣ入力端子です。付属の電源アダプターを接続します。

②ＵＳＢ端子

操作面を上にして、底面の右端の横長の穴がＵＳＢ端子です。付属のＵＳＢコードを接続します。データ転送に使用します。

左側面



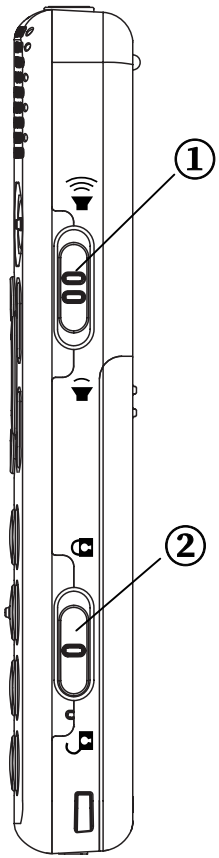
①ストラップ穴

左側面最上部の角にある２つの穴がストラップ穴です。市販のストラップを通すための穴です。

②ＳＤカードスロット

左側面中央やや上にある、細長い穴がＳＤカードスロットです。ＳＤカードを入れます。
ＳＤカードの入れ方は「ＳＤカードの入れ方」47 ページを参照してください。

右側面



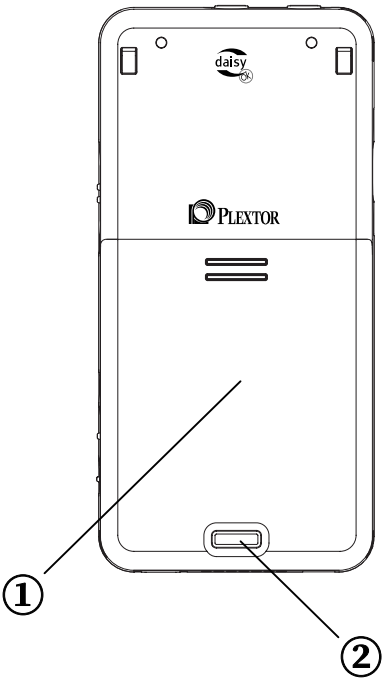
①音量スイッチ

右側面には二つのスイッチがあり、上にあるのが音量スイッチです。１回上げるごとに音量が上がり、１回下げるごとに音量が下がります。音量は０～２５まで１段階ずつ調整ができます。音声ガイドの音量も合わせて調整されます。

②キーロックスイッチ

右側面下部にあります。本製品を持ち運ぶ際にキーが誤って押されても誤動作しないようにロックするときに使います。上方向にスライドさせると全てのキーがロックされ（キーロックが有効になり）、下方向にスライドさせるとキーロックが無効になります。
電源をＯＮ／ＯＦＦする際にはキーロックを無効にしてください。

背面



①バッテリー蓋

背面中央から下がバッテリー蓋です。この蓋を開けて付属のバッテリーを入れます。

②解除ボタン

背面一番下の中央にあります。バッテリーの蓋を開けるためのボタンです。このボタンを押しながら、蓋を下方にスライドさせると蓋が開きます。

1章3　ＤＡＩＳＹとは

●ＤＡＩＳＹ図書とは

ＤＡＩＳＹ（デイジー）とは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格です。ＤＡＩＳＹ図書とは、この規格にそって制作された図書のことを言います。ＤＡＩＳＹ図書は、デジタル録音されたデータに、セクションやページ、フレーズなどの印が付けられており、利用者は、その印によって聴きたい箇所にすばやく移動することができます。

●セクションとは、見出しとは

ＤＡＩＳＹでは、本の章、節、項などの切れ目となる箇所に、「見出し」と呼ばれる印が付けられます。ある見出しから、次の見出しまでのひとかたまりの音声を「セクション」と呼びます。通常、各セクションの先頭のフレーズが見出しとなります。

●フレーズとは

音声データは、息継ぎなどで一定時間、無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。通常、１フレーズは数秒から十数秒程の長さになります。

●ページとは

ページとは、文字どおり本のページごとの区切りを表します。ページ番号が切り替わる箇所のフレーズに付けられています。

●グループとは

グループとは、セクション内に付ける区切りのことです。

１章４　本製品でできること

本製品では次のようなことができます。

１）ＤＡＩＳＹ図書を聞く

ＳＤカードに記録されたＤＡＩＳＹ形式の録音図書を再生します。長時間再生が可能で、読みたい場所がすぐに探せる優れた検索機能があります。

２）音楽（音声ファイル）を聞く

音楽ＣＤをＳＤカードへ取り込み、音楽を楽しむことができます。

３）テキストファイルを聞く

パソコンなどで使われるテキストファイルを、内蔵のテキストリーダーが読み上げます。

４）録音する

内蔵マイクや外付けマイク(別売)で授業や会議などを録音できます。また別のオーディオ機器からのライン録音もできます。

５）便利な機能

①音声で本製品の動作を明確に知らせる音声ガイド機能があります。
②お休み前にＤＡＩＳＹ図書や音楽を聞きたい時など、設定した時間で自動的に電源が切れます。
③音楽ＣＤやＤＡＩＳＹ図書をバックアップできます。→詳しくは「５章データをバックアップする」82 ページ以降を参照してください。
④その場ですぐに録音したいときに、メモ録で録音することができます。
⑤自由な場所にしるしを付けられるしおり機能があります。
⑥聞き取りやすい音程での再生速度の変更機能があります。

２章　準備しましょう

２章１ バッテリーの入れ方･取り出し方

＜警告＞

●バッテリーを交換する際は、必ず電源をＯＦＦにし、電源アダプターを外してください。

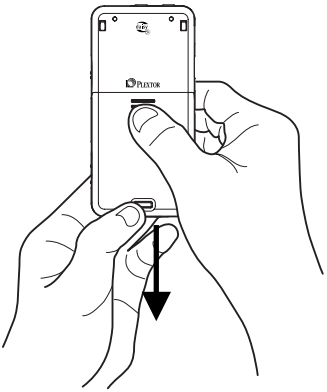
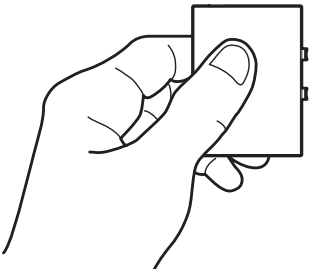
●バッテリーは、異なるタイプのものと交換すると、破裂・火災の危険があります。必ず指定されたバッテリーをご使用ください。

●バッテリーを誤って落下させると故障の原因になります。取扱いには十分に注意してください。

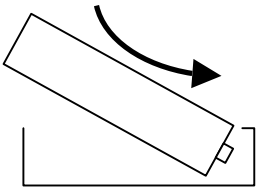
●バッテリーを入れる際は、バッテリーの端子の向きを正しく入れてください。

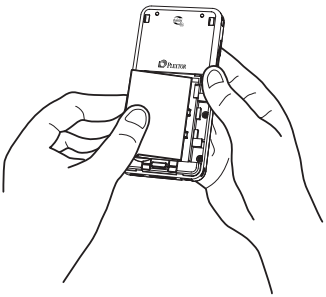
●万一、バッテリーから液がもれたら、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに火気より遠ざけ、販売店にご連絡ください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。バッテリー液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

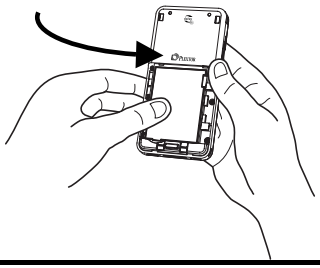
バッテリーの入れ方

手順	
1) 電源を切り、電源アダプターを外します。	
2) 本体で複数のキーがある面が操作面です。バッテリーは裏側の背面から装着をします。まず背面を向くように本体を裏返し、丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ちます。	
3) 本体の下側にバッテリー蓋を取り外す四角い小さな解除ボタンがありますので、片方の手の指先でそのボタンを深く押し込んだ状態のまま、もう一方の手で本体中央付近にある２本の線に指を掛け、両手でボタンと線を押さえながら下方向へ５mmほどスライドさせると、蓋が開きます。蓋を取り外します。バッテリーを収納する四角い部分を確認しておきましょう。本体を一旦置きます。	
4) バッテリーを持ちます。四角い形状をしたバッテリーの面の中で、２箇所の突起がある面を確認します。２箇所の突起が右側面、左側面の下側に別の小さな突起がある方向でバッテリーを持ちます。左手で持つとバッテリーが入れやすくなります。	

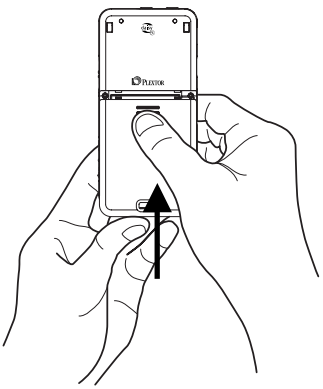
5) 再び本体を裏返した状態で丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ち、バッテリーを本体の収納部分に左から右方向にずらしながら入れます。収納部分の右側面にバッテリーが突き当たったら、浮き上がっているバッテリーの左端の部分を優しく上から押し込むとスムーズにバッテリーを収納することができます。右方向から装着しようとすると収納部分の右側面にある突起が邪魔をして正しく装着することができません。



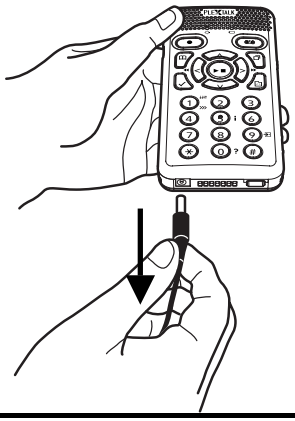
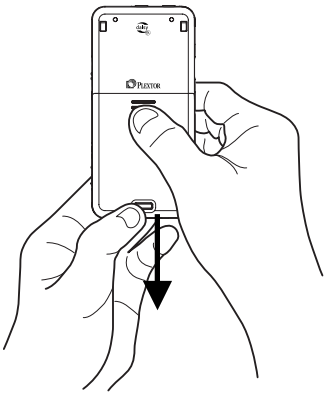


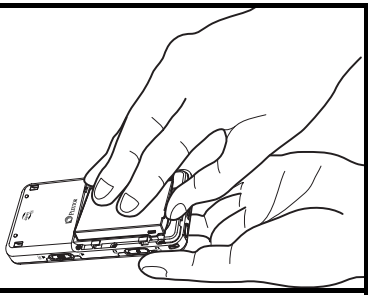
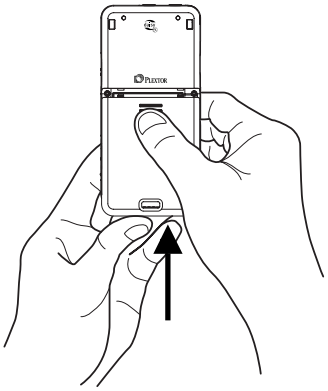


6) バッテリー蓋の取り外しの際に押さえた２本の線が上側となる向きで蓋を持ち、本体に蓋が完全に閉まる位置から約５mm下側にずらした状態で蓋を置きます。片側の手で蓋の２本の線を押さえ、もう一方の手で蓋の下側を押さえながら上方向にスライドさせると「カチッ」と音がして蓋が閉まります。蓋の回りをさわって、隙間なく閉まっていることを確認しましょう。

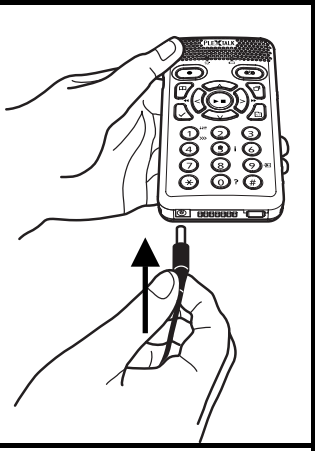


バッテリーの取り出し方

手順	
1) 電源を切り、電源アダプターを外します。	
2) 本体で複数のキーがある面が操作面です。バッテリーは裏側の背面から装着をします。まず背面を向くように本体を裏返し、丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ちます。	
3) 本体の下側にバッテリー蓋を取り外す四角い小さな解除ボタンがありますので、片方の手の指先でそのボタンを深く押し込んだ状態のまま、もう一方の手で本体中央付近にある２本の線に指を掛け、両手でボタンと線を押さえながら下方向へ５mmほどスライドさせると、蓋が開きます。蓋を取り外します。バッテリーを収納する四角い部分を確認しておきましょう。本体を一旦置きます。	

4) バッテリーの底辺の左側にバッテリーを取り出すための突起があります。その突起に爪をかけて上側に持ち上げます。	
5) バッテリー蓋の取り外しの際に押さえた２本の線が上側となる向きで蓋を持ち、本体に蓋が完全に閉まる位置から約５ｍｍ下側にずらした状態で蓋を置きます。片側の手で蓋の２本の線を押さえ、もう一方の手で蓋の下側を押さえながら上方向にスライドさせると「カチッ」と音がして蓋が閉まります。蓋の回りをさわって、隙間なく閉まっていることを確認しましょう。	

2章2　バッテリーを充電する

手順	
1) 操作面を手前にして、網目の部分が上になるように持ちます。底面左側のＤＣ入力端子に、電源アダプターを接続します。	
2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。	

＜警告＞

●本体と電源アダプター、電源プラグとコンセントは、確実に接続してください。

●付属品以外の電源アダプターを使用すると故障・火災の原因になります。必ず付属の電源アダプターを使用してください。

●電源アダプターのジャックは本体上面のヘッドホン端子や外部音声入力端子とほぼ同寸です。電源アダプターのジャックを間違ってヘッドホン端子や外部音声入力端子に差し込まないように注意してください。

２章３ バッテリーに関する注意

バッテリーの寿命とリサイクル

使用回数を重ね、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命です。新しいものと交換してください。当バッテリーは本製品独自のものですので、家電量販店などでは販売していません。本製品を購入したお店でご購入ください。

廃棄の際は、使用済みのバッテリーの端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参して廃棄してください。

バッテリーの充電について

本製品を初めてご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。フル充電には約４時間かかります。（充電時間は、使用条件によって異なります。）充電しながら、使用することができます。バッテリーＬＥＤが、赤色と緑色が交互に点滅している時は充電中、緑色に点灯すると充電完了の状態です。はじめて電源を接続する時や、１ヶ月以上使用しなかったときは、内部の時計ＩＣ用バッテリーの充電のため、電源アダプターを接続して電源を入れた状態で２４時間以上通電してください。通電中も使用することができます。

バッテリーでの再生、録音時間の目安

新品のバッテリーでの動作時間は、ＤＡＩＳＹ図書の再生で約１０時間、録音で約８時間です。（動作時間は、使用条件によって異なります。）

長期間使用しない場合について

長期間使用しない場合、バッテリー性能を維持するためには３ヶ月に１回程度、満充電にして本製品でほぼ使いきり、約３０分～１時間充電し、本製品からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。バッテリーは時間の経過とともに必ず劣化しますが、保管状態によって劣化の度合いが異なってきます。放電し切った状態で保管したり、逆に満充電に近く、なおかつ温度が高い状態で保管したりすると劣化が早くなります。

電源を切った状態でのバッテリーの消耗

電源アダプターを接続せずに電源を切ったまま放置すると、２～３週間でバッテリー残量がなくなります。長期間放置した後に電源を入れても起動しない場合は、電源アダプターを接続してから電源を入れてください。

２章４　電源のＯＮ／ＯＦＦ

電源を入れる

手順	音声ガイド
1) [電源キー] を長く押します。（１秒以上押し続けます。）	
2) 電源ＬＥＤが点灯し、電源が入ります。	

＜ポイント＞

●バッテリー装着後に初めて電源を入れた際には、本製品が起動するまでに３０秒ほど時間がかかります。

●本製品は過去に聞いた１０００タイトル分の図書の最後に停止した場所を自動的に覚えていますので、電源をＯＮ／ＯＦＦしても前回停止した場所から再生します。

バッテリーの残量の確認方法

手順	音声ガイド
1) 電源アダプターが接続されていないことを確認します。	
2) [情報キー](数字の［5キー])を押します。バッテリーの残量が音声でガイドされます。	「バッテリー　レベル」「○○パーセント」
3) 引き続き、ＳＤカードなどの情報がガイドされます。再生・停止キーを押すとガイドが終了します。	

電源を切る

手順	音声ガイド
1) [電源キー] を長く押します。（２秒以上押し続けます。）	
2) 電源ＬＥＤが消灯し、電源が切れます。	「電源ＯＦＦ」

＜ポイント＞
●電源を切る際、短く押すとお休みタイマーがはたらいてしまいます。
電源を切る際は、必ず２秒以上押し続けてください。

自動電源ＯＦＦについて

バッテリーのみで駆動させ、録音や再生を停止したまま１５分間操作しないと、「自動電源ＯＦＦ」と音声ガイドがあり、電源が自動的に切れます。
また、バッテリーレベルが低下したときには、「バッテリー不足です。残り１分で電源ＯＦＦ」と音声ガイドがあり、１分後に自動的に電源が切れます。

強制電源ＯＦＦについて

電源が入っている状態で、どのキーを押しても全く反応が無くなったときは、電源キーを１０秒以上押し続けてから指を離してください。強制的に電源が切れます。

２章５ 音量・スピード・トーンの調整

音量を調整する

手順	音声ガイド
本体右側面の [音量スイッチ] を上方向に１回押すと１段階ずつ音量が大きくなり、下方向に１回押すと１段階ずつ音量が小さくなります。音量は、０から２５まで１段階ずつ調整できます。	「音量・・」

＜ポイント＞

●音量スイッチを押し続けると、素早く音量が変化します。

●再生中に [音量スイッチ] を操作した場合には、音声ガイドはありません。

●再生音とともに音声ガイドの音量も調整されます。なお、音声ガイドの音量のみを調整したい場合は、「ガイド音量の選択」146 ページを参照してください。

●再生音量をゼロにしても、わずかに音声ガイドが流れます。

＜警告＞

●ヘッドホンで音声を聴く場合は適度な音量で聴いてください。大きな音量で聴き続けると聴覚を害する恐れがあります。

スピードおよびトーンの調整

手順	音声ガイド
1) [１キー] を１回押すと、[上キー] または [下キー] で再生スピードを変更することができます。-２から+８までの段階で調整します。	「スピード」 「スピード ＋１」 ・・・
2) [１キー] をもう１回押すと、[上キー] または [下キー] でトーン（音質）を変更することができます。-６から+６までの段階で調整します。数字が大きくなると高音域が強調され、数字が小さくなると低音域が強調されます。	「トーン」 「トーン ＋１」 ・・・
3) [１キー] をさらにもう１回押すとスピードおよびトーンの調整モードから抜けます。	

＜ポイント＞

- 再生スピードは、－２から＋８までの１１段階で調整できます。１段階でスピードが０.２５倍増減します。-２が０.５倍速、０が標準速、＋４が２倍速、＋８が３倍速です。
- 音声ガイドも再生スピードと同様にスピードが変わります。
- 再生中にスピードやトーンの調整を行った場合には、音声ガイドはありません。
- 調整の途中で再生・停止などの操作を行うと、スピード・トーンの調整から抜けることができます。

2章6　ＳＤカードの準備

ＳＤカードの形状

ＳＤカードは切手ほどの大きさで四角い板のような形状をしています。滑らかな面が表面で、ギザギザした部分がある面が裏面です。ＳＤカードはサイズが小さいので、紛失しないように注意してください。

使用できるＳＤカードについて

本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードに対応していますが、カードによっては、本製品で使用できないものがあります。使用できるカードの一覧が、同梱の「動作確認済品一覧」や弊社ホームページに掲載されていますので、新規に購入する際は、それらを参照してください。

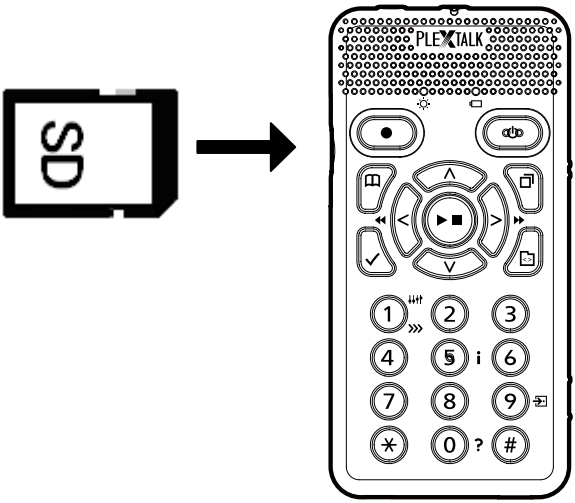
ＳＤカードの入れ方

注：本製品を購入された際には、すでにＳＤカードがカードスロットに装着されています。初回時には以下の操作は必要ありません。

１）電源を切ります。

２）ＳＤカードの滑らかな面を手前に向け、まわりの側面で角が斜めにカットされている部分を右下にして、本製品左側面のＳＤカードスロットにゆっくりと入れます。奥までしっかりと入れてください。

３）カチッと音がして、ＳＤカードが本製品の内部で固定されます。



＜ポイント＞

●ＳＤカードを入れる際は、電源を切ってから入れてください。

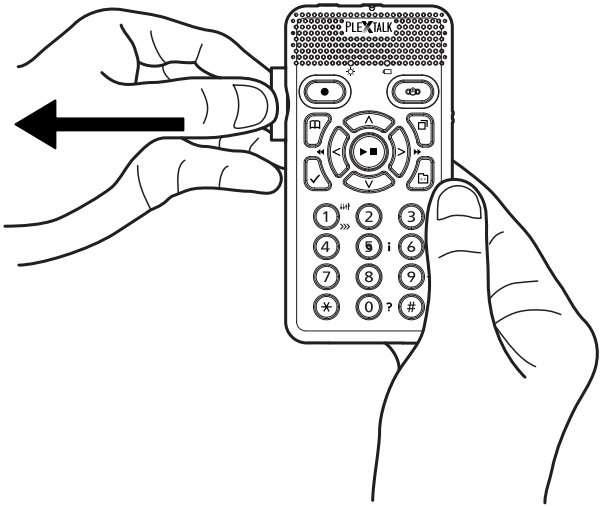
ＳＤカードの取り出し方

１）電源を切ります。

２）ＳＤカードを指先で１mm ほど押し込みます。

３）カードの固定が解除され、中にあるバネによって本体から５mm ほどカードの先端が自然に出てきます。

４）カードの先端をつまんで取り出します。

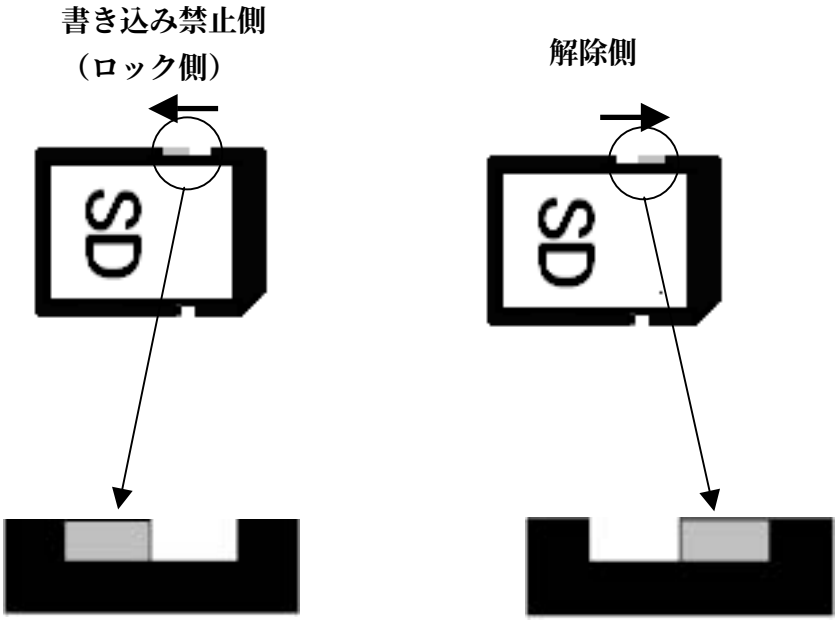


＜ポイント＞

●ＳＤカードを取り出す際は、電源を切ってから取り出してください。

書き込み禁止スイッチ

ＳＤカードの４つの角には１箇所だけ角が斜めにカットされている部分があります。ＳＤカードの滑らかな面を手前に向け、斜めにカットされている角を右下にして手に持ったとき、ＳＤカードの上側面にくぼみがあります。そのくぼみの右側か左側のどちらかにあるのが「書き込み禁止スイッチ」です。指の腹では動かしにくいので、爪に引っ掛けて動かします。このスイッチを左側にすると書き込み禁止（ロック側）になり、録音、編集、フォーマット、バックアップなどができません。それらを行う場合は、書き込み禁止スイッチを右側つまり解除側にしてください。なお、本製品に付属しているＳＤカードは工場出荷時には右側の解除側になっています。



３章　基本操作編：再生

３章１ タイトルキーの使い方

読みたい本や音楽を選ぶ

本製品ではＳＤカードに保存されている複数のＤＡＩＳＹ図書や音楽（音声ファイル）から目的のタイトルを選択して再生することができます。以下に本製品で最も基本となるタイトルの選択方法を説明します。

手順	音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「ＳＤカード」を選択します。	「SD カード、DAISY 図書、合計○タイトルあります」
2) [右キー] または [左キー] で目的のタイトルを選択します。	「DAISY 図書　１」、「DAISY 図書　２」、・・・「音楽」・・・
3) 再生・停止キーを押します。ＤＡＩＳＹ図書や音楽の再生が始まります。	
4) 選択したタイトルを再生した後、別のタイトルに移動するには、手順１から始めてください。	

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書の再生については「３章３　ＤＡＩＳＹ図書を聴く」56 ページ以降を参照してください。

●音楽を聴く場合は手順２で「音楽」を選択します。

●音楽はアルバムが複数あっても、「音楽」というひとつのタイトルとなります。アルバムごとの選択は「アルバム移動」68 ページ、または「ダイレクト移動：アルバムに移動する」70 ページを参照してください。

●ＳＤカードにテキストファイルが保存されている場合も、手順２と同様に [右キー] または [左キー] で選択することが可能です。テキストファイルの再生については「７章２　テキストファイルを聴く」107 ページを参照してください。

●ひとつのテキストファイルが１タイトルになります。

●ＳＤカードにＤＡＩＳＹ図書、音楽（音声ファイル）、テキストファイルの３種類が保存されている場合、[右キー] を押すたびに、「ＤＡＩＳＹ図書 １」→「ＤＡＩＳＹ図書 ２」→「音楽」→「テキスト １」→「テキスト ２」→「ＤＡＩＳＹ図書 １」のような順番でタイトルを選択することができます。[左キー] を押していくと逆の順番で選択することができます。

ＵＳＢ機器やメモ録に切り替える

本製品ではＳＤカードに保存されているタイトル以外に、ＵＳＢで接続されたＰＴＲ２などのＣＤドライブ内のＤＡＩＳＹ図書ＣＤや、内蔵メモリ内のメモ録を再生することができます。
タイトルキーを押すたびに、ＳＤカード、ＵＳＢ機器、メモ録と切り替えることができます。

＜ＵＳＢ機器の場合＞

手順	音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「USB 機器」を選択します。	「USB 機器、DAISY 図書、合計○タイトルあります」
2) [右キー] または [左キー] で目的のタイトルを選択します。	「DAISY 図書 １」、 「DAISY 図書 ２」、 ・・・
3) 再生・停止キーを押します。ＤＡＩＳＹ図書や音楽の再生が始まります。	
4) 選択したタイトルを再生した後、別のタイトルに移動するには、手順１から始めてください。	

＜ポイント＞

●ＵＳＢで接続されたＣＤドライブなどを「ＵＳＢ機器」と呼びます。

●本製品ではＳＤカード、ＵＳＢ機器のメディア、メモ録の３つを「メディア」と呼びます。

●ＵＳＢ機器が接続されていない場合は、「ＵＳＢ機器が接続されていません」と音声ガイドがあります。

●ＵＳＢで接続されたＣＤドライブ内のＣＤに対して、編集、録音、新規タイトル作成、タイトル削除、編集準備、ビルドブックはできません。また、バックアップ先として指定することはできません。

●ＵＳＢ接続の記録装置には録音できません。ただし、バックアップは可能です。

＜メモ録の場合＞

手順	音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「メモ録」を選択します。	「メモ録」
2) [右キー] または [左キー] で目的のメモ録を選択します。自動的にメモ録の再生が始まります。	「メモ録 １」、 「メモ録 ２」、 ・・・

＜ポイント＞

●メモ録がない場合は、「メモ録がありません」と音声ガイドがあります。

3章2　PTR2等から本製品のSDカードにデータをバックアップする

弊社製品PTR1／PTR2と本製品をUSBケーブルで接続し、PTR1／PTR2のDAISY図書CDのデータを、本製品のSDカードにバックアップすることができます。

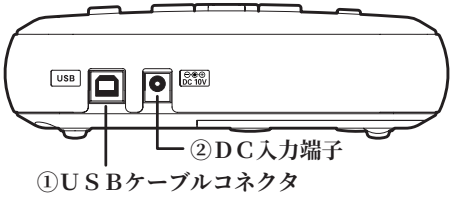
手順	音声ガイド
1) 電源を切ります。本製品に付属している短いUSBケーブルをUSB端子に接続します。ACアダプターを接続します。	
2) PTR2の電源を切ります。PTR2に付属しているUSBケーブルをPTR2の背面のUSBケーブルコネクタに接続します。	
3) 本製品に接続した短いUSBケーブルとPTR2に接続したUSBケーブルを接続し、両方の機器の電源を入れます。	
4) PTR2にCDを入れます。	
5) ※以下の操作は本製品側で行います。[タイトルキー] を何回か押して、「USB」を選択します。DAISY図書のタイトル名が自動的に再生されます。	「USB機器」「DAISY図書」
6) 数字の [9キー] を押します。	「選択中のタイトルをSDカードへバックアップしますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」

7) [再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「決定」
8) しばらく後にバックアップが終了します。	「バックアップ 100 パーセント　完了しました」
9) ＰＴＲ２からＣＤを取り出し、両方の機器の電源を切ってケーブルを外します。	

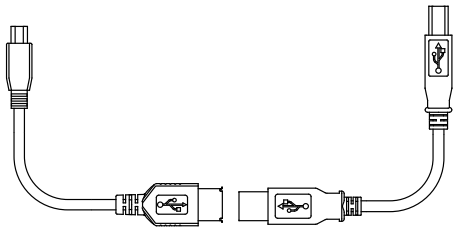
＜ポイント＞

- 本製品とＰＴＲ１／ＰＴＲ２とを接続するには、下の図のように「本製品付属のＵＳＢケーブル(短)」と「ＰＴＲ１／ＰＴＲ２に付属しているＵＳＢケーブル」の２本をつなげて接続します。
- ＰＴＲ２の「ＵＳＢ動作の切り替え」を「カードドライブ」に変更している場合は、「ＣＤドライブ」に戻してください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。ＰＴＲ１に関してはこのような操作をする必要はありません。

本製品



ＰＴＲ２



3章3　ＤＡＩＳＹ図書を聴く

再生・停止する

ＤＡＩＳＹ図書などの再生・停止の方法は、以下のようになります。

手順	音声ガイド
1) [再生・停止キー] を押します。 再生が始まります。	「～本文～」
2) 再生中に [再生・停止キー] を押すと、再生が停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

●別のタイトルを再生する場合は、タイトル移動を行ってから再生してください。タイトル移動は「読みたい本や音楽を選ぶ」50 ページを参照してください。

●停止の際には「ピロリロン」という音がしますが、この音は操作の終了を表します。

早送り、巻き戻しをする

[右キー] を押し続けると早送りされ、[左キー] を押し続けると巻き戻されます。

手順	音声ガイド
1) [右キー] または [左キー] を押し続けます。[右キー] を押し続けると早送りされ、[左キー]を押し続けると巻き戻されます。押し続けると、５秒、１０秒、２０秒、３０秒、１分、５分、１０分、２０分、３０分・・・と次第に速くなり、１０分単位になると指を離してもそのままの速度で送り、または戻し続けます。	「５秒、１０秒、２０秒、３０秒、１分、５分、１０分、２０分、３０分、・・・」
2) １０分未満の場合は、再生したいところで指を離すと、自動的に再生が始まります。１０分を超える場合は、再生したい場所で [再生･停止キー] を押すことで再生が始まります。	「～本文～」

＜ポイント＞

●音声ファイルの場合も、早送り・巻き戻しの方法は同じです。

●テキストのみのＤＡＩＳＹ図書の場合は、「５秒、１０秒、・・・」の代わりに「５文、１０文、・・・」と早送りされます。止めたいところで指を離すと自動的に再生が始まります。「５文、１０文」の「文」とは、句点「。」、疑問符「？」、感嘆符「！」で区切られた「文」を意味します。

3章4　ＤＡＩＳＹ図書の便利な頭出し

ＤＡＩＳＹ図書の移動単位

ＤＡＩＳＹ図書は、章、節、項、ページなどの単位によって区切られており、ある場所から次の場所へと素早く移動できるようになっています。移動可能な単位は、章、節、項、ページ以外にもあります。以下に本製品で移動可能な単位をまとめました。

単位	説明
レベル１～６（セクション）	ＤＡＩＳＹ図書の章、節、項などを意味します。たとえば、「レベル１」が章、「レベル２」が節、「レベル３」が項に相当します。また、セクションの冒頭部分を「見出し」と呼びます。
グループ	セクション内の任意の一部分をグループと呼びます。グループは、図表説明の先頭・最後などに設定されている場合があります。
ページ	本のページに相当します。
フレーズ	文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。 この間から次の間までのひと区切りの音声を、「フレーズ」と呼びます。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書によっては、「グループ」や「ページ」が設定されていない場合があります。

●しおり単位の移動の方法は「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」98 ページを参照してください。

上下キーで移動単位を選択

移動単位を選択するには [上キー] または [下キー] を押して選択します。
押すたびに移動単位が音声でガイドされます。

操作	音声ガイド
［下キー］を押して、移動単位を変更してみましょう。	「レベル２」 「レベル３」 ・・・「レベル６」 「グループ」 「ページ」 「フレーズ」 「しおり」 「レベル１」 「レベル２」
［上キー］を押して、移動単位を変更してみましょう。	「しおり」 「フレーズ」 「ページ」 「グループ」 「レベル６」・・・ 「レベル３」 「レベル２」 「レベル１」 「しおり」

＜ポイント＞
●ＤＡＩＳＹ図書には「レベル１」と「フレーズ」は必ずありますが、
それ以外のものは無い場合があります。

見出し移動

[上キー] または [下キー] で「レベル」を選択し、[左キー] または [右キー] で前後の見出しに移動できます。たとえば、「３章２節」に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「レベル１」を選択します。	「レベル１」
2) [右キー] を何回か押して、「３章」まで移動します。	
3) [下キー] を１回押して、「レベル２」を選択します。	「レベル２」
4) [右キー] を何回か押して、「３章２節」まで移動します。	

＜ポイント＞

●「レベル２」に設定して移動すると、「レベル１」にも止まります。また、「レベル３」に設定して移動すると、「レベル１」と「レベル２」にも止まります。

グループ移動

[上キー] または [下キー] で「グループ」を選択し、[左キー] または [右キー]でグループごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「グループ」を選択します。	「グループ」
2) [右キー] を押すたびに、１グループずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

＜ポイント＞

●グループとグループの間に見出しがあった場合には、見出しにも移動します。

●グループが設定されていない場合、上下キーでグループを選択することはできません。

ページ移動

[上キー] または [下キー] で「ページ」を選択し、[左キー] または [右キー] でページごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「ページ」を選択します。	「ページ」
2) [右キー] を押すたびに、1ページずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

＜ポイント＞
●ページが設定されていない場合、上下キーでページを選択することはできません。

フレーズ移動

[上キー] または [下キー] で「フレーズ」を選択し、[左キー] または [右キー]でフレーズごとに移動できます。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「フレーズ」を選択します。	「フレーズ」
2) [右キー] を押すたびに、1フレーズずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

ダイレクト移動：ページに移動する

番号を直接指定して移動することを「ダイレクト移動」と呼びます。
２０ページに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を押します。	「移動先のページ番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2) 数字の [２キー] [０キー] を押します。	「２」「０」
3) [再生･停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。２０ページから再生が始まります。	「決定」「ページ２０」「～本文～」

＜ポイント＞

●数字を間違って入力した場合、[上キー] または [＊キー] を押すと数字の誤入力をクリアできます。また、[上キー] を長く押すと、ダイレクト移動の操作をキャンセルできます。

●ページ数は６桁までしか入力できません。７桁以上の数字を入力するとクリアされてしまいます。

ダイレクト移動：見出しに移動する

５番目の見出しに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」 「番号０でタイトル最後に移動」
2) 数字の［５キー］を押します。	「５」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。５番目の見出しの位置から再生が始まります。	「決定」「見出し５」 「～本文～」

＜ポイント＞

●見出し番号とは、各タイトルの見出しに対して先頭から順番に振った番号です。

ダイレクト移動：先頭・最後に移動する

選択中のタイトルの先頭および最後に移動するには次のように操作します。
（最後に移動する方法は次のページにあります。）

＜先頭に移動する＞

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」 「番号０でタイトル最後に移動」
2) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。先頭から再生が始まります。	「決定」 「先頭です」 「～本文～」

＜最後に移動する＞

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」 「番号０でタイトル最後に移動」
2) [０キー] を押します。	「０」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「最後です」

＜ポイント＞

●図書の最後付近を再生するには、最後に移動してから少し戻ってください。戻らずに [再生・停止キー] を押すと、先頭に移動してしまいます。

●最後に移動したはずなのに先頭に移動してしまった場合は、再生設定が「タイトルリピート」になっている可能性があります。再生設定の変更方法は「ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルの再生設定」133 ページを参照してください。

３章５　音楽（音声ファイル）を聴く

音声ファイルについて

パソコンやＩＣレコーダーなどを使用して音声を情報化して記録したファイルを音声ファイルと呼びます。本製品で再生できる音声ファイルは以下のものです。

種類	概要
ＰＣＭファイル	音楽ＣＤ等に用いられています。非圧縮です。
DAISY ADPCM ファイル	DAISY 特有の圧縮形式です。
ＭＰ３ファイル	音楽プレーヤー等に用いられています。
ＡＭＲファイル	一部の携帯電話の音楽配信等に用いられています。

音声ファイルの移動単位

移動可能な単位を以下にまとめました。

単位	説明
アルバム	音楽ＣＤ１枚に相当するものです。
トラック	音楽１曲に相当するものです。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」98 ページを参照してください。

アルバム移動

例として、アルバム１、２、３のように３つのアルバムがあるとしましょう。アルバム２に移動するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「アルバム」を選択します。	「アルバム」
2) [右キー] または [左キー] を何回か押して、「アルバム２」まで移動します。	・・・ 「アルバム２」

＜ポイント＞
●直前にＤＡＩＳＹ図書を再生していた場合は、タイトル移動で「音楽」に移動してからアルバム移動をしてください。タイトルに移動する方法は、「読みたい本や音楽を選ぶ」50 ページを参照してください。

トラック移動

アルバム２のトラック３（３曲目）に移動するには以下のように行います。上記の操作によって、すでにアルバム２に移動しているものとします。

手順	音声ガイド
1) [下キー] を押して、「トラック」を選択します。	「トラック」
2) [右キー] または [左キー] を何回か押して、「トラック３」まで移動します。	・・・ 「トラック３」

ダイレクト移動：トラックに移動する

現在選択中のアルバム内のトラック５に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を１回押します。	「移動先のトラック番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでアルバムの先頭に移動」
2) 数字の［５キー］を押します。	「５」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。トラック５から再生が始まります。	「決定」 「トラック５」

＜ポイント＞

●ダイレクトトラック移動は同一アルバム内でしかできません。別のアルバムのトラックに移動するには、先にアルバムを選択してください。

●数字を間違って入力した場合、[上キー] または [＊キー] を押すと数字の誤入力をクリアできます。また、[上キー] を長く押すと、ダイレクト移動の操作をキャンセルできます。

ダイレクト移動：アルバムに移動する

アルバム３に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を２回押します。	「移動先のアルバム番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2) 数字の［３キー］を押します。	「３」
3) [再生・停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。アルバム３から再生が始まります。	「決定」 「アルバム３」

３章６　移動を取り消す（アンドゥ、リドゥ）

アンドゥ

移動する前の再生場所に戻ることを意味します。移動した後に [＊キー]（アスタリスクキー）を押すと、移動する前の場所に戻ることができます。
１回分のみ有効です。２回押して２つ前の場所に戻ることはできません。

リドゥ

リドゥとは、アンドゥで元に戻した操作を取り消すことを意味します。アンドゥを行って移動する前の場所に戻った後、そのアンドゥを取り消したい場合に [＃キー]（シャープキー）を押すと、アンドゥは取り消され、移動先に復帰します。
１回分のみ有効です。２回押して２回分の操作を取り消すことはできません。

４章　基本操作編：録音

４章１　内蔵マイクで録音する

内蔵マイクに入る音をＳＤカードに録音し、再生してみましょう。ＳＤカードが入っているか確認してください。

録音、一時停止、停止する

録音→一時停止→録音再開→停止の順に操作していきます。

手順	音声ガイド
1) [録音キー] を押します。 録音準備状態に入ります。 **※この時点では、まだ録音は開始しません。**	「ＤＡＩＳＹ図書○」 （「新規タイトル」） 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
2) [録音キー] を押します。 録音が開始します。	
3) 録音中に[録音キー] を押すと、録音が一時停止します。	「ポーズ」
4) [録音キー] を押し、録音を再開します。	
5) [再生・停止キー] を押し、録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

●録音準備中に録音をキャンセルしたい場合は、[再生・停止キー] を押してください。

●本製品でＳＤカードに録音したものは、すべてＤＡＩＳＹ図書の１タイトルとして記録されます。

●ＵＳＢ接続の記録装置には録音できません。ただし、バックアップは可能です。バックアップについては、「５章　データをバックアップする」82 ページ以降を参照してください。

●録音中は電源ＬＥＤが橙色に点灯し、録音準備中または録音ポーズ中は橙色で点滅します。

●手順１）の状態を「録音準備状態」あるいは「録音準備中」、手順２）と手順４）の状態を「録音状態」あるいは「録音中」、手順３）の状態を「録音ポーズ状態」あるいは「録音ポーズ中」と呼びます。

●工場出荷時の録音音質は「MP3 128k ステレオ」に設定されています。

追加録音する

追加録音とは、すでに録音されたタイトルの最後に追加して録音することです。

手順	音声ガイド
1) 追加録音したいタイトルを選択します。	「ＤＡＩＳＹ図書○」
2) [録音キー] を押し、録音準備状態に入ります。	「ＤＡＩＳＹ図書○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
3) [録音キー] を押します。 録音が開始されます。	
4) [再生・停止キー] を押し、録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

●追加録音できないタイトルは、編集準備を行うことで追加録音可能になる場合があります。編集準備の詳細は「編集準備」140 ページを参照してください。

●録音を開始すると追加録音の冒頭部に自動的に見出しを設定します。

●本製品では、挿入録音やパンチイン録音はできません。

録音準備中に新規タイトルを作成する

録音準備中に新規タイトルを作成することができます。

手順	音声ガイド
1) [録音キー] を押し、録音準備状態に入ります。	「ＤＡＩＳＹ図書○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
2) [右キー] を何回か押すことで新規タイトルを選択します。	「新規タイトル」
3) [録音キー] を押します。 録音が開始されます。	
4) [再生・停止キー] を押し、録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

●新規タイトルは右キーを押すことで最後に選択できます。

タイトル１ ⇄ タイトル２ ⇄ 新しいタイトル

●新規タイトル以外に、[右キー] または [左キー] で追加録音するタイトルを変更することもできます。追加録音できないタイトルは音声ガイドされません。

●録音キーを押す前に新しいタイトルを作成することもできます。詳しくは「新規タイトル作成」138 ページを参照してください。

4章2　メモ録

メモなどの短い文を簡単に録音できます。メモ録は、本製品の内蔵メモリに録音されます。
メモ録は選択されているメディアにかかわらず、録音キーを長く押し続けることで録音できます。

メモ録を録音する

明日のスケジュールをメモ録に録音するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1) [録音キー] を押したまま、メモを録音します。 音声ガイドが「メモ録」と言ってから録音を開始してください。 例：「明日は友人と食事をする」	「メモ録」
2) [録音キー] から指を離すと、メモ録が終了します。	
3　今、録音した内容が再生されます。	

＜ポイント＞

- **メモ録１回の録音時間は最大１分です。**
- **メモ録で録音できるのは最大２００個、総時間は３０分までです。**
- **メモ録には、録音した日付情報が付きます。**
- **メモ録が最大数または総時間を超えると、その旨を伝える音声ガイドがありますので、不要なメモ録を削除してください。削除方法は「選択中のメモ録を削除する」79 ページを参照してください。**
- **すべてのメモ録をＳＤカードに保存することができます。「すべてのメモ録→ＳＤカード」92 ページを参照してください。**
- **メモ録の録音音量は自動調整されます。手動で録音音量を設定することはできません。**
- **メモ録の音質は MP3 32k モノラルです。音質を変更することはできません。**
- **メモ録にはしおりを付けることができません。**
- **弊社製品ＰＴＲ２のようにメモリ配分を設定する必要はありません。**

メモ録を再生する

メモ録を再生するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
1) [タイトルキー] を何回か押すことで「メモ録」に移動します。	**「メモ録」**
2) [再生・停止キー] を押すと、メモ録が再生されます。	**「メモ録○」 「明日は・・・をする」**
3) [右キー] または [左キー] を押すと、次のメモ録または前のメモ録が再生され、その後に日付情報がガイドされます。	**「メモ録○」 「～メモ録～」 「～日付情報～」**

ダイレクト メモ録 移動

５番目のメモ録に移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [タイトルキー] を何回か押して「メモ録」に移動します。	「メモ録」
2) [移動キー] を押します。	「移動先のメモ録番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号０で最後のメモ録に移動」
3) 数字の［５キー］を押します。	「５」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。５番目のメモ録の再生が始まります。	「決定」 「メモ録５」 「～メモ録～」 「～日付情報～」

選択中のメモ録を削除する

選択中のメモ録を削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) 削除したいメモ録を選択(再生)します。	
2) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「メモ録」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メモ録」 「決定」「項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「選択中のメモ録を削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「選択中のメモ録を削除」 「決定」 「～メモ録の内容～」 「選択中のメモ録を削除しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞

- 削除したいメモ録を選択(再生)する方法は、「メモ録を再生する」77 ページ、または「ダイレクト メモ録 移動」78 ページを参照してください。
- メニューに入った後、[上キー] を 1 回押すとひとつ前の操作に戻ることができます。[上キー] を長く押すか、または [メニューキー] を押すと、メニューを抜けることができます。
- メモ録を削除すると、その番号以降の番号がひとつずつ繰り上がります。

すべてのメモ録を削除する

すべてのメモ録を一度に削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「メモ録」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メモ録」 「決定」「項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「すべてのメモ録を削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「すべてのメモ録を削除」 「決定」 「すべてのメモ録を削除しますか？」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

メモ欄

５章　データをバックアップする

本製品では、本体底面のＵＳＢ端子を使用することでＤＡＩＳＹ図書、音楽ＣＤ、音声ファイル、テキストファイルなどをバックアップ（コピー）することが可能です。ＤＡＩＳＹ図書ＣＤや音楽ＣＤを本製品に装着されたＳＤカードに取り込んだり、逆に、本製品のＳＤカードに録音したものを、ＵＳＢのカードリーダーライターを用いてＣＦカードなどに取り出すことができます。
ＤＡＩＳＹ図書ＣＤから本製品のＳＤカードにバックアップする場合、前者を「バックアップ元」、後者を「バックアップ先」と呼びます。

＜注意＞
- 本製品は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または、刑事上の制裁を受ける場合があります。
- 音楽ＣＤ等のコピーは個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 付属のＵＳＢケーブルの金属端子には、鋭利な部分があります。金属部分に触れる際にはケガをしないよう、十分に注意してください。

＜ポイント＞

- **メディアの種類やカードリーダーライター、ＣＤドライブの機種等によってはバックアップができない場合があります。**
- **本製品同士を接続してバックアップを行うことはできません。ＳＤカードからＳＤカードへデータを転送する際は、カードリーダーライターやパソコンを用いて転送してください。**
- **バックアップ先の容量が足りない場合は、バックアップを開始する際に、その旨を音声ガイドします。**
- **現在のメディアの使用容量･空き容量と現在のタイトルの使用容量は、[メニューキー]→[メディア管理]→[メディア・タイトル情報]で確認することができます。詳しい操作方法は「メディア、タイトル情報」135ページを参照してください。**
- **バックアップの進捗状況を知るには、バックアップ中に [上キー] 以外のキーを押してください。バックアップの進捗状況をパーセントで音声ガイドします。**
- **バックアップをキャンセルするには、バックアップ中に [上キー] を押してください。(確認の音声ガイドが流れます。)**
- **バックアップ中にＵＳＢケーブルやメディアを抜いたり、本製品の電源や接続中のＵＳＢ機器の電源を切ったりしないでください。データが失われる可能性があります。バックアップを途中でキャンセルするには、[上キー] を押してください。**
- **バックアップの際は電源アダプターの使用をお薦めします。バッテリー駆動でバックアップを行うと、バックアップ中にバッテリーがなくなる場合があります。この場合、バックアップが強制的に中断され、不完全なデータがバックアップ先のメディアに残ってしまいます。**

5章1　ＵＳＢ機器から本製品のＳＤカードにデータをバックアップする

ＤＡＩＳＹ図書ＣＤ→ＳＤカード

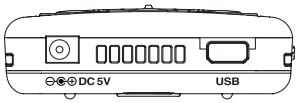
ＵＳＢ接続の外付けＣＤドライブに入っているＤＡＩＳＹ図書ＣＤを、本製品に装着されているＳＤカードにバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1) 本製品の電源を切り、本製品にＳＤカードを入れます。	
2) 外付けＣＤドライブと本製品を付属のＵＳＢケーブル(短)等で接続します。	
3) 外付けＣＤドライブの電源を入れてＣＤをセットし、次に本製品の電源を入れます。	
4) [タイトルキー] で「ＵＳＢ機器」を選択します。	「ＵＳＢ機器」
5) バックアップするタイトルを [右キー] または [左キー] で選択します。タイトルがひとつしかない場合は自動的にそのタイトルが選択されます。	「ＤＡＩＳＹ図書○」
6) 数字の [９キー] を押します。	「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」

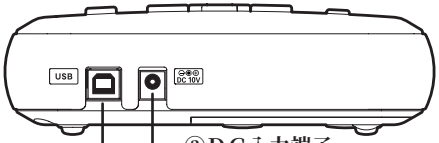
7) **[再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。**	**「決定」**

＜ポイント＞

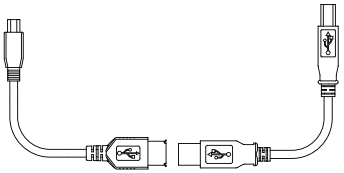
- **外付けＣＤドライブの種類によってはバックアップができない場合があります。**
- **本製品とＵＳＢ機器とを接続するには、下の図のように「本製品付属のＵＳＢケーブル(短)」と「ＵＳＢ機器に付属しているＵＳＢケーブル」の２本をつなげて接続します。**
- **バックアップ元がマルチタイトルの場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。**
- **約６００MBのＤＡＩＳＹ図書ＣＤをＳＤカードにバックアップするには、約８０分ほどの時間が必要です。（ＰＴＲ２を使用しての時間です。）ただし、ＤＡＩＳＹ図書の見出し数、使用するドライブの種類によってはバックアップに時間がかかる場合があります。**
- **弊社製品ＰＴＲ２を外付けＣＤドライブとして使用する際、ＰＴＲ２の「ＵＳＢ動作の切り替え」を「カードドライブ」に変更している場合は、「ＣＤドライブ」に戻してください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。ＰＴＲ１に関してはこのような操作をする必要はありません。**



本製品



ＰＴＲ２



音楽ＣＤ→ＳＤカード

ＵＳＢ接続のＣＤドライブに入っている音楽ＣＤを、本製品に装着されているＳＤカードにバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1) 本製品の電源を切り、本製品にＳＤカードを入れます。	
2) 外付けＣＤドライブと本製品を付属のＵＳＢケーブル(短)等で接続します。	
3) 外付けＣＤドライブの電源を入れてＣＤをセットし、次に本製品の電源を入れます。	
4) [タイトルキー] で「ＵＳＢ機器」を選択します。	「ＵＳＢ機器」「音楽ＣＤ」
5) 数字の [９キー] を押します。	「音楽ＣＤのバックアップ音質を選択」
6) [右キー] または [左キー] で音質を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「MP3　128k ステレオ」・・・「決定」 「設定しました」 「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」
7) [再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞

●外付けＣＤドライブやＣＤの種類によってはバックアップができない場合があります。

●トラック（曲）単位でバックアップすることはできません。アルバム全体がバックアップされます。

●１枚のＳＤカードの中に、音楽ＣＤは最大１００枚分までバックアップが可能です。ただし、ＳＤカードの空き容量が不足している場合は、それ以上バックアップすることはできません。

●選択可能な音質はＰＣＭステレオ、MP3 256k ステレオ、MP3 128k ステレオの３種類です。

●演奏時間約７０分の音楽ＣＤをＳＤカードにバックアップするには、ＰＣＭステレオの場合、約８０分、MP3 256k ステレオの場合、約８０分、MP3 128k ステレオの場合、約７０分必要となります。（ＰＴＲ２を使用しての時間です。）ただし、音楽ＣＤのトラック数、使用するドライブの種類によってはバックアップに時間がかかる場合があります。

●弊社製品ＰＴＲ２を外付けＣＤドライブとして使用する際、ＰＴＲ２の「ＵＳＢ動作の切り替え」を「カードドライブ」に変更している場合は、「ＣＤドライブ」に戻してください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。ＰＴＲ１に関してはこのような操作をする必要はありません。

ＵＳＢ接続のカードライターのメディア→ＳＤカード

ＵＳＢ接続のメディアに入っているＤＡＩＳＹ図書や音声ファイルやテキストファイルを、本製品に装着されているＳＤカードにバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1) 本製品の電源を切り、本製品にＳＤカードを入れます。	
2) 外付けＵＳＢ機器と本製品を付属のＵＳＢケーブル(短)等で接続します。	
3) 外付けＵＳＢ接続の記録装置に電源がある場合は電源を入れ、次に本製品の電源を入れます。	
4) [タイトルキー] で「ＵＳＢ機器」を選択します。	「ＵＳＢ機器」
5) バックアップするタイトルを [右キー] または [左キー] で選択します。タイトルがひとつしかない場合は自動的にそのタイトルが選択されます。	「ＤＡＩＳＹ図書○」
6) 数字の [９キー] を押します。	「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」
7) [再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞

●外付けＵＳＢ機器やメディアの種類によってはバックアップができない場合があります。

●カードリーダーライターにメディアを差し込む際は、１枚だけにしてください。同時に何枚も差し込まないでください。

●バックアップ元にタイトルが２つ以上ある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。

●弊社製品ＰＴＲ２を外付けＣＦカードドライブとして使用する際、ＰＴＲ２の「ＵＳＢ動作の切り替え」を工場出荷時の「ＣＤドライブ」にしている場合は、「カードドライブ」に変更してください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。

●弊社製品ＰＴＲ１はカードドライブとして使用することはできません。

５章２　本製品のＳＤカードから他の機器にデータをバックアップする

ＳＤカード→ＵＳＢ接続のカードライターのメディア

本製品に装着されているＳＤカードに録音した内容を、ＵＳＢ接続のカードライターのメディアにバックアップすることができます。

手順	音声ガイド
1) 本製品の電源を切り、本製品にＳＤカードを入れます。	
2) 外付けＵＳＢ接続のカードライターと本製品を付属のＵＳＢケーブル(短)等で接続します。	
3) 本製品の電源を入れます。	
4) [タイトルキー] で「ＳＤカード」を選択します。	「ＳＤカード」
5) バックアップするタイトルを [右キー] または [左キー] で選択します。タイトルがひとつしかない場合は自動的にそのタイトルが選択されます。	「ＤＡＩＳＹ図書○」
6) 数字の [９キー] を押します。	「選択中のタイトルを USB 機器のメディアへ バックアップ しますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」

7) [再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞

●バックアップ先としてＣＤ／ＤＶＤドライブを選択することはできません。

●ＵＳＢ接続のカードライターやメディアの種類によってはバックアップができない場合があります。

●カードライターにメディアを差し込む際は、１枚だけにしてください。同時に何枚も差し込まないでください。

●バックアップ元にタイトルが２つ以上ある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。音楽の場合はアルバム単位でバックアップされます。

●弊社製品ＰＴＲ２を外付けＣＦカードドライブとして使用する際、ＰＴＲ２の「ＵＳＢ動作の切り替え」を工場出荷時の「ＣＤドライブ」にしている場合は、「カードドライブ」に変更してください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。

●弊社製品ＰＴＲ１はカードドライブとして使用することはできません。

5章3　メモ録をＳＤカードにバックアップする

すべてのメモ録→ＳＤカード

録音したメモ録はＳＤカードに保存することができます。

手順	音声ガイド
1)　ＳＤカードを本製品に入れてから電源を入れます。	
2)　[タイトルキー] を何回か押して「メモ録」に移動します。	「メモ録」
3)　[９キー] を押します。	「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」「再生停止キーまたは下キーで決定、上キーでキャンセル」
4)　[再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。	「決定」

＜ポイント＞

●メモ録からＳＤカードにバックアップが終了しても、メモ録側の内容が自動的に削除されたりはしません。メモ録側の内容を削除する場合は「**すべてのメモ録を削除する**」80 ページを参照してください。

●ＳＤカードに保存されたメモ録は編集することができます。

●ＳＤカードに保存されたメモ録には、レベル１の見出しがつきます。

●メモ録はＳＤカードにしかバックアップできません。

６章　基本操作編：その他の機能

６章１　お休みタイマー

設定した時間で電源を自動的にＯＦＦにします。お休み前にＤＡＩＳＹ図書などを聞きながら眠りたいときに設定しておくと便利です。お休みタイマーの時間は以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) 電源ONの状態で［電源キー］を短く押します。１回押すと「１５分」に設定されます。	「お休みタイマー１５分」「設定しました」
2) 音声ガイドが流れている間に、もう１回押すと「３０分」に再設定されます。	「３０分」「設定しました」
3) 音声ガイドが流れている間に、[電源キー] を短く押していくと、「４５分」、「1時間」、「1時間３０分」、「2時間」、「ＯＦＦ」と再設定されます。	「○○分」 （または「○時間○○分」） 「設定しました」

＜ポイント＞

●設定後,、６秒以上経過してから［電源キー］を短く押すと、お休みタイマーの残り時間が音声ガイドされます。

●設定後にお休みタイマーを取り消すには、「ＯＦＦ」に再設定します。

6章2　しおり

あとで読み返す際の目印として、好きなところに「しおり」を付けることができます。しおりには、以下の２種類があります。

しおりの種類	説明
しおり	1 から 65,000 までの番号を付けることができます。
音声しおり	しおりと一緒に音声を録音することができます。

＜ポイント＞

- しおりの数は、音声しおりも含めて本製品では合計 10,000 個まで付けることができます。これを超えた場合は、最近使われていないしおりから自動的に削除されます。
- しおりは本製品の内蔵メモリに記録するものです。見出し等のようにＤＡＩＳＹ図書のファイルに付けるものではありません。したがって、しおりは、ご利用の本製品でのみ使用できます。

しおりを付ける

番号を指定してしおりを付けます。「しおり１」を付けてみましょう。

手順	音声ガイド
1) しおりを付けたい場所に移動します。	
2) [しおりキー] を２回押します。	「設定するしおり番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、録音キーで音声しおりの録音準備、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
3) しおりの番号の [１キー] を押します。	「１」
4) [再生･停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「しおり１ 設定しました」

＜ポイント＞

●メモ録にはしおりを付けることができません。

●しおりの番号はタイトルごとに付けられます。

音声しおりを付ける

しおりに音声でメモを付けたいときに使います。3番のしおりに「先生に質問」という声のメモを付けるには、以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) しおりを付けたい場所に移動します。	
2) [しおりキー] を2回押します。	「設定するしおり番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは#キーで決定、録音キーで音声しおりの録音準備、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
3) しおりの番号の［3キー] を押します。	「3」
4) [録音キー] を押し、録音準備状態にします。	「決定」「録音キーを押している間、録音されます」「音量確認」
5) [録音キー] を押し続けながら、メモの内容を録音します。「先生に質問」と言ってから指を離します。	「しおり3 設定しました」
6) 録音した内容が再生されます。	「先生に質問」

＜ポイント＞

●１つの音声しおりに録音できる時間は１分以内です。

●音声しおりの合計録音時間は３０分です。合計時間を超えた場合は、最近使われていない音声しおりから自動的に削除されます。

●弊社製品ＰＴＲ２のようにメモリ配分を設定する必要はありません。

●録音準備中に情報キー(数字の[５キー])を何回か押すと録音可能時間がガイドされます。

●音声しおりの音質は MP3 32k モノラルです。

●再生中に音声しおりを再生するかしないかの切り替えは「音声しおり再生設定」101 ページを参照してください。

●音声しおりが付けられたタイトルを再生すると、音声しおりが付けられた場所に来た際に、音声しおりが自動再生されます。音声しおりの自動再生を停止するには「音声しおり再生設定」101 ページを参照してください。

番号でしおりに移動する

３番のしおりに移動するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [しおりキー] を１回押します。	「移動先のしおり番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2) しおりの番号の [３キー] を押します。	「３」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。しおり３ の位置から再生されます。	「決定」 「しおり３」

前後のしおりに移動する

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「しおり」を選択します。	「レベル１」「レベル２」・・・「しおり」
2) [右キー] を押すと次の番号のしおりに移動し、[左キー] を押すと前の番号のしおりに戻ります。	「しおり○」 「～本文～」

＜ポイント＞

●しおりをひとつも付けていないと、手順１で「しおり」を選択することはできません。

●音声しおりの移動方法も同じです。

しおりを削除する

４番のしおりを削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [しおりキー] を３回押します。	「削除するしおり番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2) しおりの番号の [４キー] を押します。	「４」
3) [再生･停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「しおり４削除しました」

＜ポイント＞

●音声しおりも削除の方法は同じです。

選択中タイトルのしおりを削除

現在聞いているタイトルに付けたしおりを、まとめて削除できます。音楽に付けたしおりは、この操作ですべて削除されます。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、左右キーで「しおり」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「しおり」 「決定」「項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「選択中タイトルのしおりを削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「選択中タイトルのしおりを削除」 「決定」 「選択中タイトルのしおりを削除しますか？」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

音声しおり再生設定

再生中に、音声しおりを「再生する」「再生しない」の切り替えができます。
工場出荷時の設定は、「再生する」です。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、左右キーで「しおり」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「メニュー」 「しおり」 「決定」「項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「音声しおり再生設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「音声しおり再生設定」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「再生する」または「再生しない」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「再生する」「再生しない」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

- 「再生しない」に設定しても、[右キー] または [左キー] でのしおり移動や、番号指定でしおりに移動した際には、音声しおりは再生されます。

6章3　その他の機能

キー説明

[メニューキー] の長押しで、キーの名称と説明を音声ガイドします。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を５秒以上長く押すとキー説明モードに入ります。	「キー説明開始」
2) 説明を聞きたいキーを短く押すと、そのキーに関する説明がガイドされます。	・・・
3) [メニューキー] を５秒以上長く押すと、キー説明が終了します。	「キー説明終了」

＜ポイント＞
●キー説明の最中に [電源キー] を押すと、[電源キー] についての説明が音声ガイドされるだけで、電源は切れません。電源を切る場合は、キー説明を終了してから電源を切ってください。

キーロック

本体右側面にあるキーロックスイッチを上方向にスライドさせると、キーロックが有効になります。キーロックは本製品を持ち運ぶ際にキーが誤って押されても動作しないようするために使用します。キーロックスイッチを下方向にスライドさせるとキーロックが無効になります。

＜ポイント＞
●電源をＯＮ／ＯＦＦする際にはキーロックを無効にしてください。
●再生中や録音中でもキーをロックすることができます。

ヘルプを聞く

本取扱説明書の内容を音声ガイドで聞くことができます。

手順	音声ガイド
1) ［0キー］を押します。	「ヘルプ開始」
2) ＤＡＩＳＹ図書の再生方法と同じ方法でヘルプを聞くことができます。	
3) もう一度［0キー］を押すとヘルプが終了します。	「ヘルプ終了」

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書の再生方法は「3章3　ＤＡＩＳＹ図書を聴く」56ページ以降を参照してください。

7章　パソコンでの応用

7章1　データを転送する

パソコン→ＳＤカード

本製品をパソコンと接続すると、本製品は外付けドライブとして認識されます。パソコンのＣＤドライブやハードディスクから本製品のＳＤカードにＤＡＩＳＹ図書や音声ファイル、テキストファイルを転送したり、本製品のＳＤカード内のファイルを削除したりすることができます。
付属のＵＳＢケーブル(長)でパソコンと接続すると、本製品のＳＤカードはリムーバブルディスクとして認識され、パソコンからＳＤカードにデータを書き込んだり、ＳＤカードの内容をパソコンに読み込んだりすることが可能になります。対応ＯＳは、Windows® 2000、XP、Windows Vista® です。

●パソコンと本製品を接続します。

手順
1)　本製品にＡＣアダプターを接続します。本製品にＳＤカードが入っていることを確認し、本製品とパソコンの電源を入れます。
2)　本製品とパソコンが起動してから、付属のＵＳＢケーブル(長)で直接接続します。（途中にＵＳＢハブなどを経由しないでください。）
3)　パソコンのマイコンピュータ（エクスプローラ）で、本製品のＳＤカードがリムーバブルディスクとして認識されます。

●データを転送します。
パソコンのマイコンピュータ（エクスプローラ）上でＤＡＩＳＹ図書、音声ファイル、テキストファイルをＳＤカードにコピー＆ペーストすることでパソコンのファイルを本製品のＳＤカードに取り込むことができます。なお、

ＤＡＩＳＹ図書のファイルを転送する場合は、フォルダごと転送するか、または、新しいフォルダを作って、その中に転送してください。

●パソコンから本製品を取り外します。以下の２つの方法があります。

＜方法１＞

手順
1) パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ハードウェアの(安全な)取り外し」を左クリックします。
2) 「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・の停止（停止します）」あるいは、「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外します」を左クリックします。
3) 「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外すことができます」とのダイアログまたはバルーンを閉じます。
4) 本製品が再起動する前にＵＳＢケーブルを外します。

＜方法２＞

手順
1) パソコンと本製品の電源を切ります。
2) ＵＳＢケーブルを外します。

＜ポイント＞

●対応ＯＳは、Windows® 2000、XP、Windows Vista® です。これらのＯＳ以外での動作は保証いたしません。

●データを転送している時に、本製品の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルやＳＤカードを抜いたりしないでください。

●ＤＡＩＳＹ図書のファイルをコピーする場合は、フォルダごと転送するか、または、新しいフォルダを作って、その中に転送してください。ＳＤカードのルートフォルダにはＤＡＩＳＹ図書のファイルを転送しないでください。ＳＤカードのルートフォルダにＤＡＩＳＹ図書のファイルを転送すると、再生以外の操作ができなくなります。

ＳＤカード→パソコン

付属のＵＳＢケーブル(長) でパソコンと接続することで、本製品のＳＤカードはリムーバブルディスクとして認識され、ＳＤカードの内容をパソコンに読み込むことが可能になります。対応ＯＳは、Windows® 2000、XP、Windows Vista® です。

●パソコンと本製品を接続します。詳しくは「パソコン→ＳＤカード」104ページを参照してください。

●データを転送します。
パソコンのマイコンピュータ（エクスプローラ）上でＤＡＩＳＹ図書、音声ファイル、テキストファイルをＳＤカードからコピー＆ペーストすることでＳＤカードに記録されているファイルをパソコンに転送することができます。詳しくはパソコンの操作方法に関する説明書を参照してください。

●パソコンから本製品を取り外します。詳しくは前ページを参照してください。

＜ポイント＞
●対応ＯＳは、Windows® 2000、XP、Windows Vista® です。これらのＯＳ以外での動作は保証いたしません。
●本製品がカードドライブとしてパソコンに接続されている時に、本製品の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルやＳＤカードを抜いたりしないでください。

7章2　テキストファイルを聴く

テキストファイルについて

テキストファイルとは文字データから作られたファイルを表します。本製品ではテキストリーダーによってテキスト形式とＨＴＭＬ形式のファイルを読み上げることが可能です。

移動単位

テキストファイル内を以下のような単位で移動することができます。

種類	説明
レベル (ＨＴＭＬ形式のみ)	ＨＴＭＬファイル内にはレベル１からレベル６までの見出しが付けられており、それらは＜ｈ１＞から＜ｈ６＞までのタグと呼ばれています。
段落	空白の行で区切られた文です。
文	句点「。」、疑問符「？」、感嘆符「！」で区切られた一文です。
しおり	ユーザーの好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●しおり単位の移動については「番号でしおりに移動する」「前後のしおりに移動する」98 ページを参照してください。

●読み上げ可能なファイルサイズは最大６ＭＢまでです。

テキストファイル内での移動

たとえば３段落目の２つ目の文を読ませるには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「段落」を選択します。	「段落」
2) [右キー] を何回か押して、３つ目の段落まで移動します。	「～本文～」
3) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「文」を選択します。	「文」
4) [右キー] を何回か押して、２つ目の文まで移動します。	「～本文～」

＜ポイント＞

●直前に別のタイトルを再生していた場合は、タイトル移動で目的のテキストファイルに移動してください。タイトルに移動する方法は、「読みたい本や音楽を選ぶ」50 ページを参照してください。

テキストファイル内でのダイレクト移動

テキストファイル内の位置を%で指定して移動できます。たとえば、５０％と指定して移動してみましょう。以下の操作により、テキストファイルの全文字数の５０%の位置にある文の、次の文の冒頭に移動することができます。

手順	音声ガイド
1) [移動キー] を１回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」
2) 数字の [５キー][０キー] を押します。	「５」「０」
3) [再生・停止キー] または [下キー] を押して決定します。５０%の位置の、次の文の冒頭から再生が始まります。	「決定」 「５０パーセント」 「～本文～」

テキストファイルの早送り、巻き戻し

手順	音声ガイド
1) [右キー] または [左キー] を押し続けます。[右キー] を押し続けると、文を5つずつ早送りし､[左キー]を押し続けると５つずつ巻き戻します。[右キー] を押し続けると、５文、１０文、１５文、２０文、２５文、３０文・・・と送られていきます。	「５文、１０文、１５文、２０文、２５文、３０文・・・」
2) 再生したいところで指を離すと、自動的に再生が始まります。	「～本文～」

8章　使いこなし編：録音

8章1　録音音量の調整

自動音量調整の切り替え

本製品には、自動的に録音音量を調整する機能があり、工場出荷時の設定は「自動音量調整あり」です。自動音量調整を「なし」にすることもできます。その場合には以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「録音設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「自動音量調整の切り替え」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「自動音量調整の切り替え」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「自動音量調整なし」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「自動音量調整なし」 「決定」 「設定しました」

録音音量を調整して録音する

自動音量調整を「なし」にすると録音音量を手動で調整することができます。
調整の手順は以下のようになります。

手順	音声ガイド
1) 自動音量調整が「あり」になっている場合は、前ページの方法で自動音量調整を「なし」に設定します。	
2) [録音キー] を押します。録音準備状態に入ります。	「ＤＡＩＳＹ図書○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
3) [上キー] または [下キー] で音量を調整します。適切な音量より小さかったり、大きかったりすると、「小さい」あるいは「大きい」というガイドが流れます。適した音量になると「良い」というガイドが流れます。	「小さい」 「大きい」 「良い」
4) [録音キー] を押します。 録音が開始されます。	
5) [再生・停止キー] を押し、録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞
●内蔵マイクの録音音量も調整することができます。
●録音音量は、０から２０まで１段階ずつ調整できます。

録音中音量確認

適切な音量よりも録音音量が小さければ、本製品は「小さい」と音声でガイドします。このような音声ガイドによる音量確認のことを「録音中音量確認」と言います。音量確認の音声ガイドの種類は以下のとおりです。

状態	音声ガイド
自動音量調整が「あり」	「自動」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が適量	「良い」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が小さい	「小さい」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が大きい	「大きい」

＜ポイント＞

●録音中の音声ガイドが「ガイドなし」に設定されている場合は、録音中の音量確認はできません。音声ガイドの有無については、「録音中の音声ガイドの「あり／なし」」118 ページを参照してください。

録音中音量確認の「あり／なし」

[タイトルキー] を押すことによって録音中音量確認の「あり／なし」を切り替えることができます。「あり」にすると音量確認のガイドが流れるようになり、「なし」にすると音量確認のガイドが流れなくなります。工場出荷時の設定は「あり」です。

手順	音声ガイド
1) 録音準備中、録音ポーズ中、または録音中に [タイトルキー] を押します。録音中音量確認が「なし」になります。	「録音中音量確認なし」
2) もう一度［タイトルキー］を押します。録音中音量確認が「あり」になります。	「録音中音量確認あり」

８章２　録音設定

録音モードと録音音質について

録音モードには以下の６種類があります。

・標準：周囲の雑音がやや少ない時に用います。
・会議：会議や講義などのように、周囲の雑音がやや多い時に用います。
・音楽：ＣＤプレーヤーのような機器からライン録音する時に用います。
・テープ：テープレコーダーからライン録音する時に用います。
・ラジオ：ラジオからライン録音する時に用います。
・カスタム：以下の項目について、個別に調整が可能です。

自動見出し設定	設定した秒数以上の無音が続いたときに自動的にセクションを分割します。
録音の自動停止時間	設定した時間以上の無音が続いた場合、録音を自動的に停止します。
録音開始タイミング	「録音キー操作時」は［録音キー］を押した時点で録音が開始されます。「音声検知時」は［録音キー］を押しても、録音はすぐには開始されません。音声を検知したときに録音を開始します。
入力音のノイズ量	入力音のノイズとは、たとえばテープから音を入力する場合のヒスノイズなどです。家庭で録音する場合は「標準」を、静かな場所で録音する場合は「少ない」を選択してください。

＜ポイント＞
●弊社製品ＰＴＲ２の図書制作モードにある「倍速録音設定」や「フレーズの自動分割」の設定は本製品にはありません。

録音モードの設定値は以下の表のようになります。カスタムモード以外のモードは、以下の設定値に固定されています。カスタムモードの場合は表に記載されている項目の中から選択できます。

詳細 / 録音モード	自動見出し設定	録音の自動停止時間	録音開始ﾀｲﾐﾝｸﾞ	入力音のﾉｲｽﾞ量
標準	しない	しない	録音キー操作時	標準(-28dB)
会議	しない	しない	録音キー操作時	多い(-20dB)
音楽	２秒	１分	録音キー操作時	少ない(-40dB)
テープ	４秒	１分	音声検知時	標準(-28dB)
ラジオ	しない	１分	音声検知時	標準(-28dB)
カスタム	しない １秒 ２秒 ３秒 ４秒 ５秒	しない ３０秒 １分 ２分 ３分 ４分 ５分	録音キー操作時 音声検知時	少ない (-40dB) 標準 (-28dB) 多い (-20dB)

録音設定では録音モードと録音音質の両方を選ぶことができます。録音音質は PCM 44.1kHz ステレオ、PCM 22.05kHz モノラル、MP3 256k ステレオ、MP3 128k ステレオ、MP3 64k モノラル、MP3 32k モノラルの６種類から選ぶことができます。工場出荷時の録音モードは「標準」、録音音質は「MP3 128k ステレオ」に設定されています。

録音音質と録音可能時間について

選択した録音音質とともに録音可能時間も変わります。良い音質ほど録音に必要なデータ量が多くなるため録音可能時間は短くなります。以下にＳＤカードの容量と録音可能時間をまとめました。

ＳＤカード購入の際には、別紙の「動作確認済品一覧」をご覧ください。

メディアの容量 / 音質	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM ステレオ (44.1kHz)	約９０分	約３時間	約６時間	約１２時間
PCM モノラル (22.05kHz)	約６時間	約１２時間	約２４時間	約４８時間
MP3 256k ステレオ (44.1kHz)	約７.５時間	約１５時間	約３０時間	約６０時間
MP3 128k ステレオ (44.1kHz)	約１５時間	約３０時間	約６０時間	約１２０時間
MP3 64k モノラル (44.1kHz)	約３０時間	約６０時間	約１２０時間	約２４０時間
MP3 32k モノラル (22.05kHz)	約６０時間	約１２０時間	約２４０時間	約４８０時間

＜ポイント＞

●ＳＤカードに実際に記録できるデータ容量は、カードに表示されているデータ容量よりも少ない場合があります。

録音モードと録音音質の選択

録音モードを「標準」から「テープ」に変更し、音質を MP3 64k モノラルに変更するには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「録音設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「録音モードの選択」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「録音モードの選択」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「テープ」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「テープ」 「決定」 「音質を選択」
4) [右キー] または [左キー] で「MP3 64 キロ モノラル」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「MP3　64 キロ　モノラル」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●録音準備中に [メニューキー] を押すと直接「録音設定」に入ることができます。

8章3　その他の録音設定

モニター出力の「あり／なし」

録音準備中や録音中に、しおりキーでモニター出力を「あり」または「なし」にすることができます。工場出荷時の設定は「モニター出力あり」です。マイクで録音する場合、内蔵スピーカーでのモニターはハウリングの原因になりますので、モニター出力は自動的に「なし」になります。しかし、この場合でもヘッドホンでは音声を聞くことができます。録音準備中にモニター出力を「あり」または「なし」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) 外部音声入力端子に録音用接続ケーブルを接続します。	「入力　ラインイン」
2) [録音キー] を押し、録音準備状態に入ります。	・・・ 「音量確認」
3) [しおりキー] を押すたびに、モニター出力が入ったり切れたりします。	「モニター出力なし」 「モニター出力あり」
4) [録音キー] を押して、録音を開始します。	

＜ポイント＞
- 録音モニターは録音準備状態に入る毎に「あり」になりますので、「録音モニターなし」に設定する際は、その都度、設定を行ってください。
- マイクで録音する際に録音モニターを「あり」にすると、ハウリングが発生する場合があります。その際はヘッドホンを使用してください。

録音中の音声ガイドの「あり／なし」

マイクから録音する際、音声ガイドが録音されないようにするために設定します。工場出荷時の設定は、「ガイドあり」です。録音中の音声ガイドを「ガイドなし」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、左右キーで「録音設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「録音中の音声ガイド切り替え」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「録音中の音声ガイド切り替え」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「ガイドなし」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ガイドなし」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●音声ガイドが録音されないようにするためには、この方法の他に、ヘッドホンを接続するという方法もあります。ヘッドホンを接続すると、音声ガイドがヘッドホンに流れるので、音声ガイドが録音されることはありません。

８章４　外付けマイクやラインから録音する

外付けマイクとライン入力の選択

外部音声入力端子に外付けマイクやラインインのジャックを差し込むと、「マイク使用モード」あるいは「ラインイン使用モード」と音声ガイドされます。工場出荷時の設定は「マイク使用モード」です。ラインインのジャックを差し込んだ時に「マイク使用モード」とガイドされた場合は、以下の手順で「ラインイン使用モード」に変更します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「録音設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「外部音声入力端子の切り替え」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「外部音声入力端子の切り替え」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「ラインイン使用モード」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ラインイン使用モード」 「決定」 「設定しました」

外付けマイクで会議や授業を録音する

授業や会議を録音する場合は録音モードを「会議」に設定して録音すると、「標準」に比べてフレーズの自動分割が上手くできます。また、自動音量調整は「あり」にした方が、授業や会議を録音する場合には適しています。

手順	音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。外付けマイク（別売）を用意し、本製品の外部音声入力端子に接続します。	「マイク使用モード」
2) 録音モードを「会議」に設定します。	
3) 自動音量調整を「あり」に設定します。	
4) [録音キー] を押します。録音準備状態に入ります。	「ＤＡＩＳＹ図書○」「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」「音量確認」
5) 会議が始まるタイミングで［録音キー］を押します。	
6) 録音を終了するときは、［再生・停止キー］を押します。	「♪♪」

＜ポイント＞

●手順１で、外付けマイクを接続した際に「ラインイン使用モード」とガイドされた場合は、「マイク使用モード」に変更してください。詳しくは「外付けマイクとライン入力の選択」119 ページを参照してください。

●手順２で、録音モードを設定する方法は「録音モードと録音音質の選択」116 ページを参照してください。

●手順３で、自動音量調整を設定する方法は「自動音量調整の切り替え」110 ページを参照してください。

●録音中に［移動キー］を押すと、新たに見出しが付きます。詳しくは「録音中に見出しを付ける」126 ページを参照してください。

●録音準備中などに録音に関する情報を聞くことができます。詳しくは「情報を聞く」132 ページを参照してください。

ラジオやテープの音声を録音する

ラジオ（テレビ）を録音する場合は録音モードを「ラジオ」に設定して録音すると便利です。「ラジオ」の設定で録音すると、録音は音声を検知してから始まりますので、録音の先頭に無音が入りにくくなります。また、音声が１分以上途切れると自動的に録音を停止しますので、ラジオ側でＯＮ、ＯＦＦの予約をしておけば、ラジオがＯＮの間だけ録音をすることができます。テープの内容を録音する場合は、録音モードを「テープ」に設定して録音すると便利です。「テープ」の設定で録音すると、テープからの音声を検知してから録音が始まります。また、音声が４秒以上途切れると、自動的に見出しを設定し、１分以上途切れると自動的に録音を停止します。

手順	音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。ラジオまたはテープレコーダーのヘッドホンジャックに、録音用ケーブル（別売）を接続します。ケーブルの反対側の端子を本製品の外部音声入力端子に接続します。	「ラインイン使用モード」
2) 録音モードを「ラジオ」または「テープ」に設定します。	
3) 自動音量調整を「あり」に設定します。	
4) [録音キー] を押します。	「ＤＡＩＳＹ図書○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
5) ラジオまたはテープが始まるタイミングで［録音キー］を押します。	

6) 録音を終了するときは、[再生・停止キー]を押します。なお、[再生・停止キー]を押さなくても１分以上音声が入力されないと、自動的に録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

- 手順１で、録音用ケーブルを接続した際に「マイク使用モード」とガイドされたら、「ラインイン使用モード」に変更してください。詳しくは「外付けマイクとライン入力の選択」119 ページを参照してください。
- 手順２で、録音モードを設定する方法は「録音モードと録音音質の選択」116 ページを参照してください。
- 手順３で、自動音量調整を設定する方法は「自動音量調整の切り替え」110 ページを参照してください。
- ラジオ・テレビ・テープレコーダーのラインアウトと本製品の外部音声入力端子を接続した場合、音が歪むことがあります。その際には、ラインアウトではなく、ラジオ等のヘッドホン出力端子をお使いください。

音楽をラインインから録音する

音楽を録音する場合は、録音モードを「音楽」に設定して録音すると便利です。「音楽」の設定で録音すると、録音は［録音キー］を押すと直ぐに開始されます。曲と曲との間など無音が２秒続くと自動的に見出しを設定しますので、録音後にレベル１で曲間を移動できます。また、音が１分以上途切れると自動的に録音を停止します。

ラインインに接続してカセットプレーヤ、ＣＤプレーヤなどの音楽プレーヤーで再生する音楽を録音する場合の一連の操作方法について説明します。自動音量調整はＯＦＦにして音量を調整します。

手順	音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。ラジオまたはテープレコーダーのヘッドホンジャックに、録音用ケーブル（別売）を接続します。ケーブルの反対側の端子を本製品の外部音声入力端子に接続します。	「ラインイン使用モード」
2) 録音モードを「音楽」に設定します。	
3) 自動音量調整を「なし」に設定します。	
4) [録音キー] を押します。	「ＤＡＩＳＹ図書○」 「録音キーで・・・」 「音量確認」
5) 録音音量を調整するため、音楽プレーヤーを再生します。[上キー] または [下キー] で音量を調整します。音量が適量でないと「小さい」または「大きい」と音声ガイドされます。大きめの音が流れている時に「良い」と音声ガイドされるように調整してください。	「良い」

6) 音楽プレーヤーを録音開始したい場所まで戻して再生し、同時に［録音キー］を押します。録音が開始されます。	
7) 録音を終了するときは、[再生・停止キー］を押します。なお、[再生・停止キー］を押さなくても１分以上音楽が途切れた場合は自動的に録音を停止します。	「♪♪」

＜ポイント＞

- 手順１で、録音用ケーブルを接続した際に「マイク使用モード」とガイドされたら、「ラインイン使用モード」に変更してください。詳しくは「外付けマイクとライン入力の選択」119 ページを参照してください。
- 手順２で、録音モードを設定する方法は「録音モードと録音音質の選択」116 ページを参照してください。
- 手順３で、自動音量調整を設定する方法は「自動音量調整の切り替え」110 ページを参照してください。
- 音楽プレーヤーのラインアウトと本製品の外部音声入力端子を接続した場合、音が歪むことがあります。その際には、ラインアウトではなく、音楽プレーヤーのヘッドホン出力端子をお使いください。

９章　使いこなし編：編集

９章１　見出しを付ける

録音中に見出しを付ける

録音中に [移動キー] を押すことで、録音中でも見出しを付けることができます。たとえば、「あいうえお」「かきくけこ」と読んで録音し、「か行」の先頭に見出しを付けてみましょう。

手順	音声ガイド
1) [録音キー] を押し、録音準備状態に入ります。	・・・
2) [録音キー] を押し、録音を開始します。 「あ行」を読んだ後、[移動キー] を押して見出しを付けます。続いて「か行」を読みます。 [再生・停止キー]を押し、録音を停止します。	（あいうえお） 「見出し○○」 （かきくけこ）

＜ポイント＞

●見出しは停止中でも再生中でも付けることができます。

●録音開始部分には自動的に見出しが付きます。

●内蔵マイクを使用して録音すると、録音中の音声ガイド「見出し○○」なども録音されてしまいますが、ヘッドホンを接続するか、メニューの「録音設定」から「録音中の音声ガイド切り替え」で「なし」に設定することで、音声ガイドが出なくなります。詳しくは、「録音中の音声ガイドの「あり／なし」」118 ページを参照してください。

録音後に見出しを付ける

録音中は、キーを押したタイミングで見出しが付きますので、意図したところと若干違った場所に見出しが付いてしまう場合があります。録音後に編集すると、より正確な位置に見出しを付けることができます。

「さしすせそ」と「たちつてと」を続けて読んで録音し、「た行」の冒頭の正確な位置に見出しを付けるには、以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) 「さしすせそ」、「たちつてと」と録音します。	
2) [再生・停止キー]を押し、「た」が再生された瞬間に［再生・停止キー］を押して停止します。	「さしすせそ」 「た・・」
3) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、 [再生･停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
4) [右キー] または [左キー] で「見出し設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し設定」「決定」 「見出し○を設定しますか」「右キーまたは左キーで設定する位置を微調整」
5) 設定位置を調整する場合は、［左キー］または［右キー］を押すことで前後に０．１秒ずつ移動します。［左キー］を数回押して「た」が再生される場所まで移動します。	「・ちつてと」 「たちつてと」
6) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し○設定しました」

録音ポーズ中に見出しを予約する

録音ポーズ中に [移動キー] を押すことで、録音再開時に見出しを付ける予約をすることができます。

手順	音声
1) 録音中に [録音キー] を押して、録音ポーズ状態に入ります。	「ポーズ」
2) [移動キー] を押して見出しを付ける予約をします。	「見出し○」
3) [録音キー] を押して、録音を再開します。再開した箇所に見出しが付きます。	

＜ポイント＞

●手順２の後で、もう一度 [移動キー] を押すと、予約を取り消すことができます。

見出しを取り消す

先ほど「た行」に設定した見出しを取り消すには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] でレベル１を選択します。	
2) [左キー] を押して「た行」に移動し、[再生・停止キー] を押して停止します。	「た」
3) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
4) [右キー] または [左キー] で「見出し取り消し」を選択し、 [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し取り消し」 「決定」 「見出し○を取り消しますか？」
5) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し○取り消しました」

＜ポイント＞

●新たに見出しを付け足したり取り消したりすると、見出し番号は自動的にタイトルの先頭から振り直されます。

９章２　セクション削除

不要なセクションを削除することができます。たとえば、第２章の先頭から第４章の最後までを削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) 第２章に移動します。	
2) [メニューキー]を押します。	「メニュー」
3) [右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、[再生・停止キー]または[下キー]または [＃キー] を押して決定します。	「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
4) [右キー] または [左キー] で「セクション削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「セクション削除」 「決定」 「削除したい範囲の先頭のセクションを選択」
5) [右キー] または [左キー] で削除する先頭のセクション（第２章）を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「～先頭のセクション～」 「決定」 「削除したい範囲の最後のセクションを選択」
6) [右キー]で削除する最後のセクション（第４章)まで進み、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「～最後のセクション～」 「決定」 「セクション削除を実行しますか？」
7) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「削除しました」

＜ポイント＞

●第２章のみを削除する場合は、先頭のセクションで第２章を選び、最後のセクションでも第２章を選んでください。

１０章 使いこなし編:その他の機能

１０章１　様々な情報を聞く

情報を聞く

＜再生中・停止中＞

ＳＤカード等に保存されているＤＡＩＳＹ図書等に関する情報を音声ガイドで聞くことができます。

手順	音声ガイド
1) 再生中または停止中に [情報キー] (数字の[５キー]) を押します。下の表に示された情報が順番にガイドされます。	「～(電源情報)～」 ・・・
2) [５キー] を押すごとに、次の内容にスキップできます。	

音声ガイドされる情報内容一覧

データ	情報の内容（ガイド順）
ＤＡＩＳＹ図書	電源→時間→ページ→見出し→しおり→タイトル→録音された日時→再生設定
音声ファイル	電源→時間→トラック→アルバム→しおり→タイトル→再生設定
テキストファイル	電源→進捗→しおり→タイトル→更新された日時→再生設定
メモ録	電源→メモ録→メモ録時間→録音された日時
ヘルプ	電源→ページ→見出し→しおり→再生設定

＜録音中など＞

録音中などにもＤＡＩＳＹ図書に関する情報を音声ガイドで聞くことができます。方法は前ページと同様に[情報キー] (数字の[５キー]) を押します。

状態	情報の内容（ガイド順）
録音準備中	電源→録音→音声しおり→タイトル→録音設定
録音中	電源→録音
録音ポーズ中	電源→録音→録音設定

＜ポイント＞
●情報を聞くことを途中で止めたい場合は [上キー] を押してください。

現在の日時を確認する

現在の日時を確認するには以下のように行います。

手順	音声ガイド
［情報キー］(数字の[５キー]) を長押しします。	「午前（午後）・・時・・分」「・・年・・月・・日」

＜ポイント＞
●現在の日時を設定する方法は、「時計設定」149 ページを参照してください。

１０章２　再生設定

ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルの再生設定

ＤＡＩＳＹ図書とテキストファイルでは、次のような再生設定ができます。

再生方法	概要
通常再生	通常の再生を行います。（工場出荷時の設定）
タイトルリピート	選択されたタイトルを繰り返し再生します。

＜設定方法＞

再生設定を「タイトルリピート」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) [タイトルキー] でＤＡＩＳＹ図書またはテキストファイルを選択します。	
2) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「再生設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「再生設定」 「決定」 「再生方法を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「タイトルリピート」を選択します。	「タイトルリピート」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●ＤＡＩＳＹ図書、音声ファイル、テキストファイル、それぞれ別個の設定をすることができます。

●現在の再生設定は [情報キー] (数字の[５キー]) で確認できます。

音声ファイルの再生設定

音声ファイルでは、次のような再生設定ができます。

再生方法	概要
通常再生	通常の再生を行います。（工場出荷時の設定）
トラックリピート	選択されたトラック（曲）を繰り返し再生します。
アルバムリピート	選択されたアルバムを繰り返し再生します。
オールアルバムリピート	全てのアルバムを繰り返し再生します。
シャッフルリピート	全てのアルバム内のトラックをシャッフルして再生します。

＜ポイント＞
●ＵＳＢ接続のＣＤドライブで音楽ＣＤを再生する場合、「オールアルバムリピート」は「アルバムリピート」になります。

＜設定方法＞

再生設定を「トラックリピート」にするには以下のように設定します。

手順	音声ガイド
1) [タイトルキー]で音楽を選択します。	
2) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「再生設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「再生設定」 「決定」 「再生方法を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「トラックリピート」を選択します。	「トラックリピート」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「設定しました」

１０章３　メディア管理

メディア、タイトル情報

選択中のメディアやタイトルに関する情報を音声ガイドします。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「メディア、タイトル情報」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。 メディアの種類、メディアの空き容量、メディアの使用容量、メディアの総容量、タイトル情報、タイトルの詳細な情報、タイトルの使用容量が繰り返しガイドされます。	「メディア、タイトル情報」 「決定」 「メディア情報」 ・・・
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] で終了します。	

＜ポイント＞

- 「メディアの使用容量」に関しては、メモ録と外付けＣＤに関してのみ音声ガイドされます。
- メディアによって音声ガイドされる内容が異なります。

ＳＤカード内容全消去（フォーマット）

ＳＤカードは、カード内容全消去を行うことで新しいカードとして使用できます。カード内容全消去を行うには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) 電源を切り、ＳＤカードをセットします。	
2) ＤＣ入力端子に、付属の電源アダプターを接続して電源を入れます。	
3) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
4) [右キー] または [左キー] で「ＳＤカード内容全消去」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ＳＤカード内容全消去」 「決定」 「ＳＤカード内容全消去を実行しますか？」
5) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜ポイント＞
●ＵＳＢ機器のメディアの内容全消去（フォーマット）はできません。

＜ポイント＞

●カード内容全消去を行うと全てのデータが消去されます。必要なデータは必ず別のカード等に保存（バックアップ）してからカード内容全消去を行ってください。

●カード内容全消去中は絶対に電源を切らないでください。電源を切るとカード等の記録装置が使用できなくなる場合があります。

●カード内容全消去には長時間が必要となる場合がありますので、必ず電源アダプターを接続して行ってください。

●ＳＤカードの書き込み禁止スイッチが禁止側になっているとカード内容全消去を実行できません。書き込み禁止スイッチを解除側にしてください。詳しくは「書き込み禁止スイッチ」49 ページを参照してください。

新規タイトル作成

１枚のＳＤカードに複数のタイトルを作成することができます。新規タイトル作成を行うには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [タイトルキー] でＳＤカードを選択します。	「ＳＤカード・・・」
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「新規タイトル作成」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「新規タイトル作成」 「決定」 「新規タイトルをＳＤカードに作成しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「実行しました」

＜ポイント＞

●録音準備中にも新規タイトルを作成することができます。詳しくは「録音準備中に新規タイトルを作成する」75 ページを参照してください。

タイトル削除

選択中のタイトルを削除するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) 削除したいタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「タイトル削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「タイトル削除」 「決定」 「選択中のタイトルを削除しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞

●音楽の場合は「アルバム削除」になります。

●ＵＳＢ接続のＣＤドライブ内のＣＤのタイトルを削除することはできません。

●タイトルに移動する方法は「読みたい本や音楽を選ぶ」50 ページを参照してください。

編集準備

編集準備をすると、ＤＡＩＳＹ図書のタイトルへ追加録音や、見出しの設定、取り消しなどの編集を行えるようになります。

手順	音声ガイド
1) 編集準備をするタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「編集準備」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「編集準備」 「決定」 「編集準備を実行しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜ポイント＞

●編集準備が可能なタイトルは、本製品を含むプレクストーク製品で録音されたものに限ります。

●本製品で録音したＤＡＩＳＹ図書のタイトルに対しては、編集準備をする必要はありません。ただし、ビルドブックをしたタイトルを編集する場合は編集準備をする必要があります。

●編集準備はＳＤカードのタイトルに対してのみ実行可能です。音楽（音声ファイル）やテキストファイルは、編集準備をすることはできません。

●編集準備には長時間かかる場合があります。

●編集準備の実行中に [上キー] を押すと編集準備がキャンセルされます。

●編集準備の実行中に [上キー] 以外のキーを押すと「○○%完了、残り○○時間○○分」と進捗状況がガイドされます。

ビルドブック

本製品で録音した図書を、他社製のＤＡＩＳＹ編集再生ソフトで取り扱う場合には、ビルドブックが必要になります。ビルドブックを行うことで、一般的なＤＡＩＳＹ形式ファイルが作られます。

手順	音声ガイド
1) ビルドブックをするタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「ビルドブック」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ビルドブック」 「決定」 「ビルドブックを実行しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜ポイント＞

●ビルドブックはＳＤカードのタイトルに対してのみ実行可能です。

●ビルドブックした図書には追加録音や編集ができません。その図書に追加録音や編集をしたい場合は「編集準備」を行ってください。

●ビルドブックには長時間かかる場合があります。

●ビルドブックの実行中に [上キー] を押すとビルドブックがキャンセルされます。

●ビルドブックの実行中に [上キー] 以外のキーを押すと「○○%完了、残り○○時間○○分」と進捗状況がガイドされます。

１０章４　管理

設定の初期化

設定を初期化すると、次の各種設定項目が全て工場出荷時の状態に戻ります。また、本製品の内蔵メモリに記憶していた音声しおりなどが全て削除されます。以下に工場出荷時の状態を記します。

項目	内容
音量、ガイド音量	標準
スピード	標準
トーン	標準
メモ録	そのまま保持されます
しおり、音声しおり 過去に聞いたタイトルの停止位置	全て削除されます
音声しおり再生設定	再生する
再生設定	通常再生
録音設定	標準
録音中の音声ガイド	ガイドあり
自動音量調整	あり
外部音声入力切り替え	マイク使用モード
待ち受け音	待ち受け音１
音声ガイド	音声ガイド１

設定を初期化するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「設定を初期化」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「設定を初期化」 「決定」 「工場出荷時の設定に戻ります」 「設定の初期化を実行しますか？」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞
●設定を初期化すると、音声しおりなどは削除されてしまいます。

プレクストークの情報

本製品のバージョン番号とシリアル番号（製造番号）を確認できます。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「プレクストークの情報」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。 「プレクストークバージョン」「シリアル番号」を繰り返し音声ガイドします。	「プレクストークの情報」 「決定」 「プレクストークバージョン・・・」 「シリアル番号・・・」
3) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して終了します。	「決定」

ガイド音量の選択

音声ガイドの音量だけを調整するには以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、 [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「ガイド音量の選択」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ガイド音量の選択」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] を押して音量を調整し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ガイド音量○」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●ガイド音量の選択とは、ＤＡＩＳＹ図書や音声ファイル等の再生音量に比べて、どの程度大きい（小さい）音でガイドするかを設定するものです。－５から＋５までの範囲で設定できます。ガイド音量の変更を行った後、音量スイッチで再生音量を増減させると、設定された範囲でガイド音量も一緒に増減します。

テキスト読み上げ音声の選択

日本語のテキストを読ませる場合は「日本語、キョウコ」を、英語のテキストの場合は「US　English　Samantha」を選択してください。工場出荷時の設定は「日本語、キョウコ」です。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「テキスト読み上げ音声の選択」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「テキスト読み上げ音声の選択」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「日本語、キョウコ」または「US　English　Samantha」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「日本語、キョウコ」 (または「US　English　Samantha」) 「決定」 「設定しました」

待ち受け音の選択

各種処理を実行している間に流れる音楽を「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択することができます。工場出荷時は、「待ち受け音１」に設定されています。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「待ち受け音の選択」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「待ち受け音の選択」 「決定」
3) [右キー] または [左キー] で「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「待ち受け音１」 「決定」 「設定しました」

時計設定

たとえば時計を２００８年１２月７日午後３時１０分に設定する場合には以下のように操作します。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「時計設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「時計設定」 「決定」 「年を入力」
3) [２キー]、[０キー]、[０キー]、[８キー] と押し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「２」「０」「０」「８」 「決定」 「月を入力」
4) [１キー]、[２キー] と押し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「１」「２」 「決定」 「日を入力」
5) [７キー]を押し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「７」 「決定」 「時刻を４桁で入力」 「左または右キーで午前午後を変更」

6) [右キー] または [左キー] で「午後」を選択します。	「午後」
7) [３キー]、[１キー]、[０キー] と押し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「３」「１」「０」 「決定」 「２００８年１２月７日午後３時１０分」 「設定しました」

＜ポイント＞

●途中で [上キー] を押すとひとつ前の手順に戻ります。時計設定を中止する場合は [上キー] を長く押すとキャンセルできます。

●月、日を２桁で入力する際、1(０１) から 9(０９)では、始めの「０」は省略して入力できます。

●「午前・午後」の時刻の入力は、基本的に０：００から１１：５９ ですが、１５：００のように入力した場合、午後３：００に設定されます。

●年、月、日など音声ガイドの内容が合っていれば、テンキーでの入力は必要ありません。[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定してください。

●現在の日時を確認する方法は、「現在の日時を確認する」132 ページを参照してください。

テキスト読み上げの設定

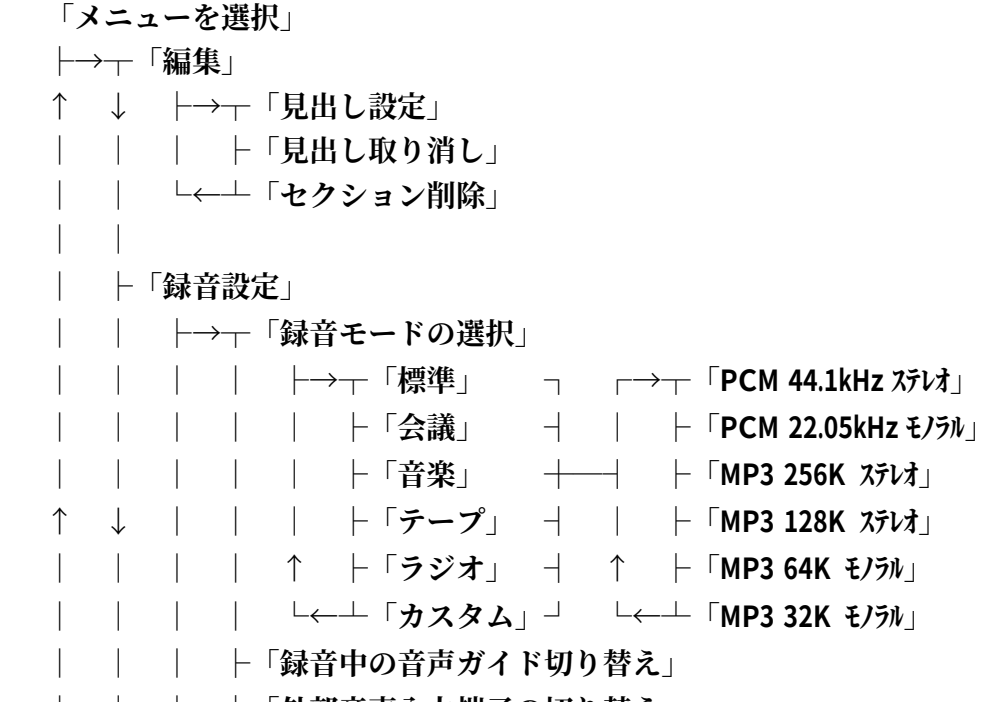
テキストファイルを読み上げる際に、音程を高めに読むか、低めに読むかを設定することができます。音程を高くするにはピッチを上げてください。

手順	音声ガイド
1) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) [右キー] または [左キー] で「テキスト読み上げの設定」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「テキスト読み上げの設定」 「決定」 「ピッチ設定」
3) [右キー] または [左キー] で「ピッチ」の長さをー５から＋５の範囲で選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [#キー] を押して決定します。	「ピッチ○」 「決定」 「設定しました」

１１章　付録

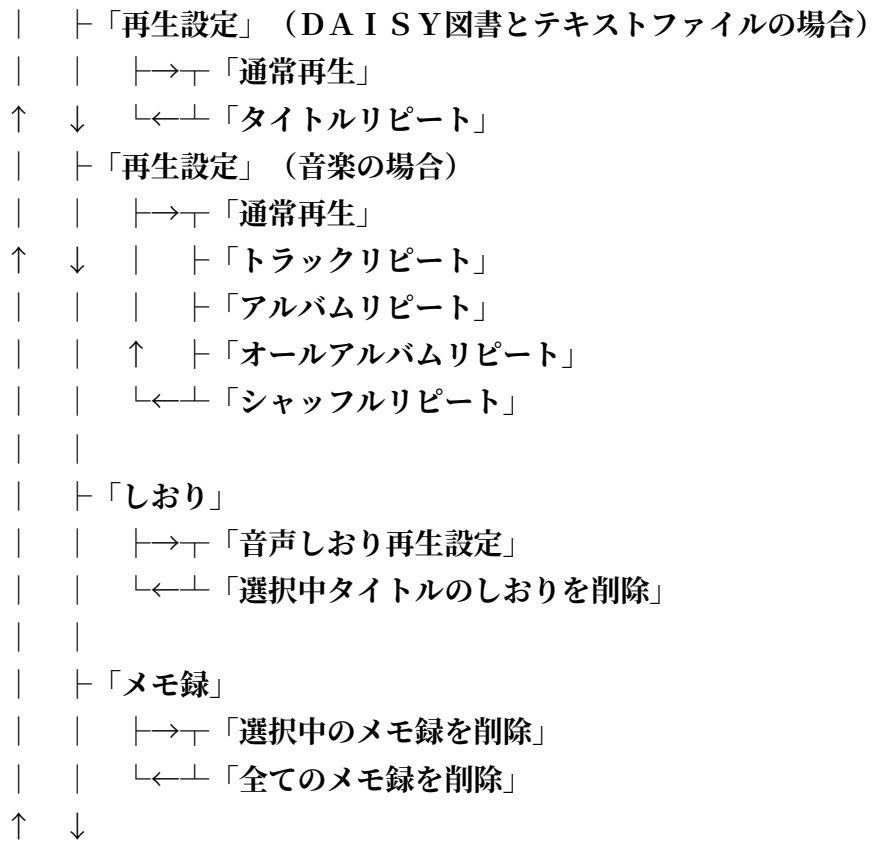
１１章１ メニュー階層一覧

ここでは、メニューの階層を一覧形式で紹介します。
挿入されているメディア、接続されている機器などの条件により、選択できるメニューが変わります。



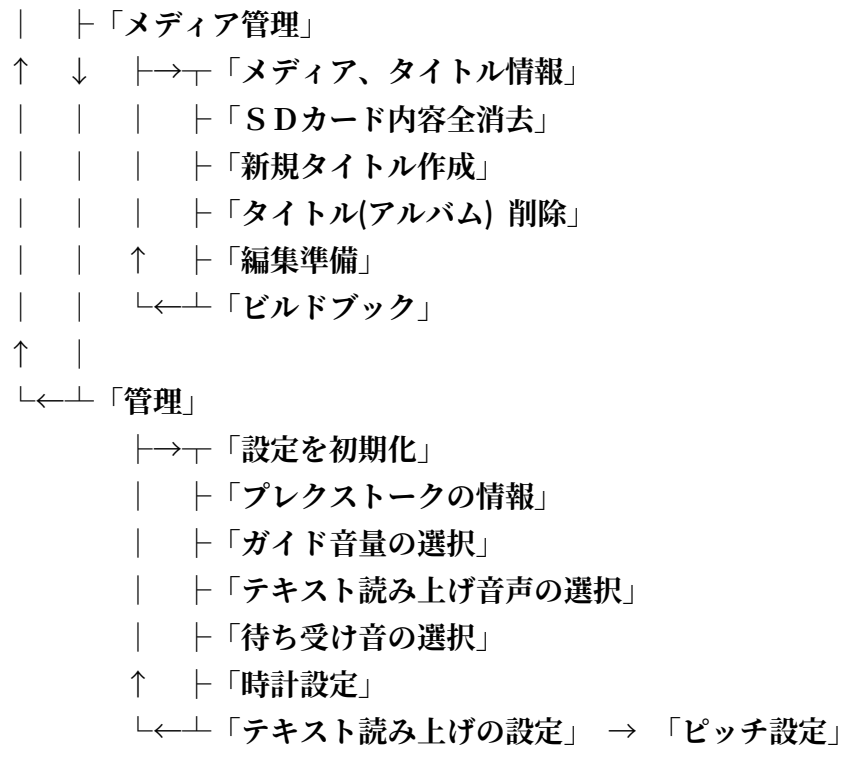
次のページに続く

前のページからの続き



次のページに続く

前のページからの続き


「メディア管理」
「メディア、タイトル情報」
「ＳＤカード内容全消去」
「新規タイトル作成」
「タイトル(アルバム) 削除」
「編集準備」
「ビルドブック」
「管理」
「設定を初期化」
「プレクストークの情報」
「ガイド音量の選択」
「テキスト読み上げ音声の選択」
「待ち受け音の選択」
「時計設定」
「テキスト読み上げの設定」 → 「ピッチ設定」

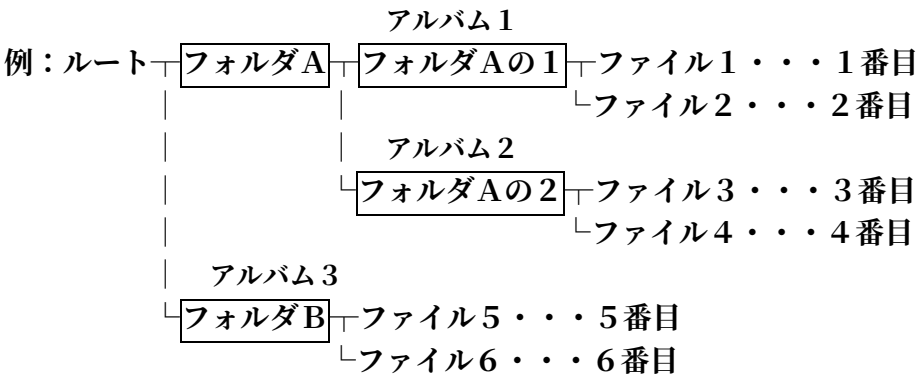
１１章２ 音声ファイルの連続再生の順序

ひとつのフォルダ内での連続再生の順序

フォルダ内に「プレイリスト」と呼ばれるテキスト形式のファイルが存在する場合には、そこに再生順序が記されており、その記述に従った順序でファイルが再生されます。プレイリストが存在しない場合、ひとつのフォルダ内ではファイル名の順（ａｂｃ順）に再生されます。

フォルダが複数ある場合の連続再生の順序

フォルダが複数存在する場合、音声ファイルの連続再生の順序は以下のようになります。



＜ポイント＞

●基本的にフォルダがアルバムとなります。ただし、フォルダ内に音声ファイルが無い場合は、アルバムとはなりません。前ページの例では、フォルダＡの１がアルバム１、Ａの２がアルバム２、フォルダＢがアルバム３となります。フォルダＡはアルバムではありません。

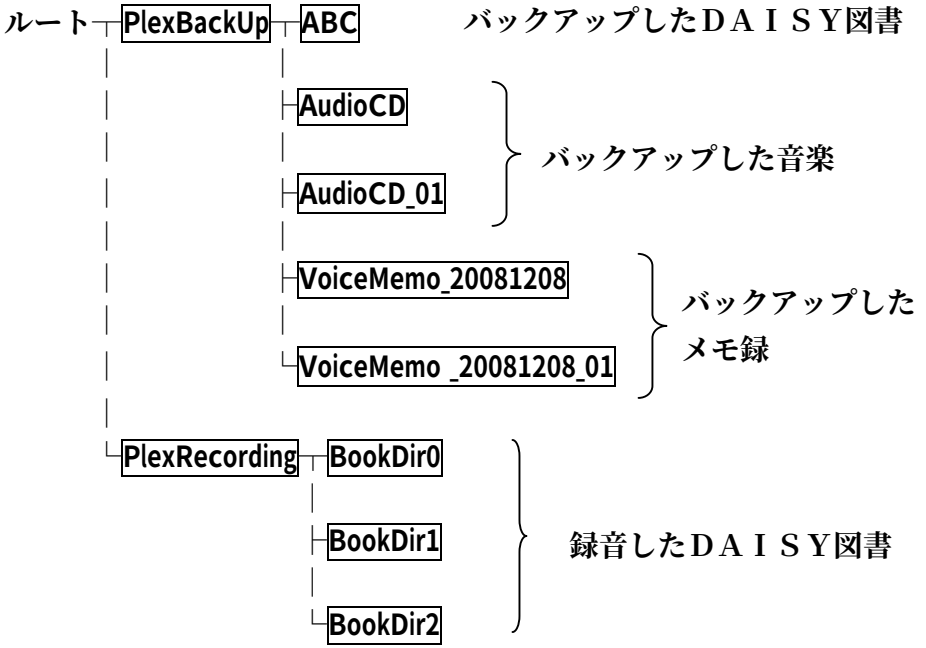
●１つのフォルダに含まれるファイルは１０２４個までしか認識しません。フォルダに関してはルートフォルダを含め８階層、１０２４個のフォルダまで認識します。それ以上のフォルダは認識しません。１つのメディアに含まれるファイルは６０００個までしか認識しません。

●フォルダ数やファイル数が多いと、音声ファイルやカード情報の読み出しにかかる時間が長くなります。

１１章３ 録音やバックアップで自動的に作られるフォルダ名について

＜録音の場合＞
空のＳＤカードに録音を開始すると、ＳＤカードのルートフォルダに「PlexRecording」という名前のフォルダが作られます。さらにその下に「BookDir0」という名前のタイトルが自動的に作られます。同様に新規タイトルで録音すると、「BookDir1」、「BookDir2」という名前のタイトルが作られていきます。

＜バックアップの場合＞
空のＳＤカードにバックアップを行うと、ＳＤカードのルートフォルダに「PlexBackUp」という名前のフォルダが作られます。
ＤＡＩＳＹ図書の場合は、「PlexBackUp」の下にバックアップ元と同じ名前のフォルダ名でタイトルがバックアップされます。（次のページの図では「ＡＢＣ」という名前のフォルダになっています。）音楽ＣＤの場合は、「PlexBackUp」の下に「AudioCD」という名前のフォルダが作られ、その中にバックアップされます。２枚目、３枚目の音楽ＣＤの場合は、それぞれ「AudioCD_01」、「AudioCD_02」という名前のフォルダ名でバックアップされます。メモ録の場合は、「PlexBackUp」の下に「VoiceMemo_(バックアップした年月日)」という名前のフォルダが作られ、その中にバックアップされます。同じ日にメモ録のバックアップを２回以上行うと日付の後に_01、_02 という番号が付きます。



１１章４ フォルダ選択について

タイトルキーを押してＳＤカードを選択した後、上キーを押すと「フォルダ選択」とガイドされます。その後、右キーまたは左キーでフォルダを移動することができます。ルートフォルダに「PlexBackUp」と「PlexRecording」というフォルダがある場合、右キーまたは左キーでフォルダを選択し、次に下キーを押すと「タイトル選択」とガイドされますので、右キーまたは左キーでタイトルを選択します。そうすることで、目的のタイトルに素早く移動できます。

１２章　用語解説

本書で使われている用語を解説します。

用語	解説
ＡＭＲ	音声圧縮形式の一種です。圧縮率が高く、一部の携帯電話の音楽配信等に用いられています。
ＤＡＩＳＹ図書	ＤＡＩＳＹ（Digital Accessible Information System）は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために、カセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、１２カ国の正規会員団体で構成するＤＡＩＳＹコンソーシアム（本部スイス）により開発と維持が行なわれている情報システムを表しています。ＤＡＩＳＹ図書は、音声情報が見出しで区切られ、その見出しを階層的に組むことができます。たとえば、いちばん大きな章をレベル１、その下の節はレベル２となります。また、ページ数の情報なども埋め込むことができますので、検索性に優れています。 ＤＡＩＳＹ規格には DAISY2.0、DAISY2.02、ANSI/NISO Z39.86/DAISY3.0 などがあります。
DAISY ADPCM２ファイル	ＤＡＩＳＹ図書で用いられる音声ファイルの一種です。ＰＣＭの４分の１のサイズに圧縮されます。
ｄＢ(デシベル)	音の強さを表わす単位です。

用語	解説
ＭＰ３	「MPEG Audio Layer-3」の略称で、高圧縮率で高品質な音声圧縮技術、もしくはそれを使って圧縮された音声データのことです。ＣＤ品質の音声データをＭＰ３(128kbps)に変換すると、多少音質は低下しますが、約１０分の１のサイズに圧縮することができます。
ＰＣＭ	音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する形式の一種です。音楽ＣＤなどに用いられています。非圧縮のため音質は良いのですが、ファイルサイズが大きくなってしまいます。
ＳＤカード	フラッシュメモリの一種です。切手ほどのサイズに加え、厚さが１mmほどしかなく、そのコンパクトさが特徴です。 「ＳＤカード」は「ＳＤメモリカード」の略称です。
ＳＤＨＣカード	ＳＤカードの一種で、その容量の大きさが特徴です。寸法はＳＤカードと同じです。 本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードの両方に対応しています。
ＵＳＢ	ＵＳＢ（Universal Serial Bus）は、パソコンの周辺装置を接続するための規格のひとつです。この規格のケーブルで接続された機器をＵＳＢ機器と呼びます。
アルバム	ここでは、音声ファイルが入っているひとつのフォルダを「アルバム」と呼びます。
グループ	グループとは、セクション内に付ける区切りのことです。

用語	解説
セクション	ＤＡＩＳＹ図書の章、節、項などで分けられた録音内容を本書ではセクションと表現しています。
タイトル	タイトルとは、録音図書自身のことであり、１つの器のようなものです。このタイトルという器の中に、音声データや、見出し情報等が入っています。
テキストオンリーＤＡＩＳＹ	音声ファイルが無く、テキストファイルのみで構成されるＤＡＩＳＹ図書のことです。
特殊ページ	特殊ページは、図書の途中や最後に付けられた特別なページのことです。図表や付録などに付けられます。［上キー］または［下キー］で「ページ」を選択し、［右キー］または［左キー］で移動できます。
トラック	ひとつの音声ファイルを「トラック」と呼びます。音楽の１曲に相当します。
ファイル	文字や音楽などのデータをパソコンやメモリカードなどに格納する際の、データのかたまりを表します。
フォルダ	ファイルを入れる「箱」に相当します。
フレーズ	音声データは、息継ぎなどで一定時間、無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。通常、１フレーズは数秒から十数秒程の長さになります。
プレイリスト	プレイリストは、ファイルの拡張子名を「ｍ３ｕ」とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述したものです。

用語	解説
前付けページ	前付けページは、図書の最初に本文の前に付けられたページのことです。[上キー] または［下キー］で「ページ」を選択し、[右キー] または［左キー］で移動できます。
マルチタイトル	１枚のＣＤやカードの中に複数のタイトルが収録されている録音図書のことです。
見出し	セクションの一番先頭のフレーズと、セクションが変わる位置を本書では見出しと表現しています。たとえば本取扱説明書の「１章はじめに」のフレーズ自体と、始まる位置を見出しと呼びます。
メディア	情報を記録するものの総称。本製品で扱えるメディアは、ＳＤカードの他、ＵＳＢカードリーダーで読み込めるカード（ＣＦカードなど）です。
レベル(ＤＡＩＳＹ)	通常、本はいくつかの章から成り立っています。また、それぞれの章の下には節、そして節の下には項があります。章がレベル１に相当し、節はレベル２、項はレベル３・・というように、本を検索していく際の単位をレベルと表しています。 レベル１ １章 レベル２ １章１節 １章２節 レベル３ １章１節１項 １章１節２項 １章２節１項・・

１３章　故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、下記の方法で症状を確かめてください。

注１：以下の文中に「本製品をリセットする」という記述があります。リセットをするには、以下のいずれかの方法を行ってください。
＜リセットの方法１＞
電源が入っている状態でキーロックをオン（有効）にします。電源キーを 10 秒以上押し続けた後、手を離すと電源が切れます。キーロックをオフ（無効）にして、電源を入れます。
＜リセットの方法２＞
リセットの方法１ができない場合は、以下の方法で行います。電源を切ります。電源アダプターを外して、バッテリーをいったん取り出します。再びバッテリーを取付け、電源を入れます。
注２：リセット後には、本製品の起動に３０秒ほど時間がかかります。

１３章１　症状と対応のしかた

症状と対応のしかた（全般）

症状	対応のしかた
電源が入らない。 （次頁に続きます）	キーロックを確認し、キーロックが ON（有効）になっていたら OFF（無効）にしてください。
	ヘッドホンが接続されていたり、音量がゼロになっていたりして、電源が入ったかどうかが分かりずらい状態になっていないか確認してください。

症状	対応のしかた
電源が入らない。 （続き）	電源アダプターを接続して電源を入れてください。
	上記の方法で改善されない場合は、電源アダプターを外して、バッテリーをいったん取り出します。再びバッテリーを取付け、電源アダプターを接続して電源を入れてください。
電源アダプターを接続すると電源が入るが、バッテリーだけでは電源が入らない。	数日間使わなかったような場合、バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。電源アダプターを接続して十分に充電してください。
	上記の方法で改善されない場合は、バッテリーをいったん取り出します。再びバッテリーを取付け、電源を入れてください。
電源が切れない。 （全てのキーが反応しなくなった。）	キーロックを確認し、キーロックが ON（有効）になっていたら OFF（無効）にしてください。
	電源アダプターとバッテリーを取り外し、もう一度取り付けて、電源を ON/OFF してください。
待ち受け音が鳴ったまま、反応がない。	本製品をリセットしてください。
音声ガイドが出ない。	電源を入れてください。
	ヘッドホンを抜き、音量スイッチで音量を上げてください。
	ガイド音量を確認してください。確認の方法は、メニュー→管理→ガイド音量選択です。低く設定されていたら、ガイド音量を上げてください。

症状	対応のしかた
録音中に音声ガイドが出なくなる。	録音中の音声ガイドが「なし」になっているか確認し、「なし」になっていたら、ガイド「あり」に変更してください。設定は次のように行います。 メニュー→録音設定→録音中の音声ガイド切り替え→ガイドあり
SD カードが再生できない。	SD カードを差し込む向きが正しいか、または、しっかりと差し込まれているかを確認してください。
	動作確認済 SD カードを使用してください。
	「SD カードに再生可能なデータがありません」とガイドがあった場合は、録音などをしてから再生してください。または、何か記録されている SD カードを入れてください。
	本製品が対応していない方式で書き込まれた SD カードは再生できません。そのカードを使う場合はカード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。
SD カードに録音できない。 （次頁に続きます）	SD カードが書き込み禁止になっているかを確認し、書き込み禁止になっていたら、書き込み禁止を解除してください。
	SD カードを差し込む向きが正しいか、または、しっかりと差し込まれているかを確認してください。
	動作確認済 SD カードを使用してください。

症状	対応のしかた
SD カードに録音できない。（続き）	本製品が対応していない方式でフォーマットされた SD カードには録音できません。そのカードを使う場合はカード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。
	SD カードの空き容量がない場合は、不要なデータを削除して空き容量を確保してください。または、十分な空き容量のある SD カードに交換してください。
録音音量が調節できない。	自動音量調整が「あり」に設定されていると、録音音量を手動で調節することができません。メニュー→録音設定→自動音量調整→「なし」を選択し、自動音量調整を「なし」に設定ください。
パソコンに接続しても、本製品がパソコンに認識されない。	パソコンの OS が Windows® 2000、XP、Windows Vista®であることを確認してください。
	AC アダプターを接続してください。
	ＵＳＢケーブルを差し直してください。その際、パソコンと本製品の間にＵＳＢハブ（ＵＳＢ分配器）が接続されている場合は、それを取り外し、付属のＵＳＢケーブル（長）でパソコンと本製品を直結してください。
	パソコンの USB 差込み口を変更してください。
	上記の方法で改善されない場合は、本製品をリセットした後、再度パソコンに接続してください。

症状	対応のしかた
パソコンからの書き込みができない。	SD カードが書き込み禁止になっているかを確認し、書き込み禁止になっていたら、書き込み禁止を解除してください。
	動作確認済 SD カードを使用してください。
PTR2 を CF カードドライブとして本製品に接続すると、「このUSB 機器には対応していません。」とガイドされてしまう。	CF カードが特殊な形式でフォーマットされている可能性があります。パソコンを使って CF カードを FAT32 形式でフォーマットしてください。フォーマットすると記録されていた内容が消去されてしまいますので、削除したくないタイトルは前もって CD にバックアップしておいてください。
PTR2 の CF カードから本製品の SD カードにバックアップできない。	電源を入れた状態で USB ケーブルを繋ぎ直してください。
	PTR2 のドライブ設定が「カードドライブ」になっているか確認し、「CD ドライブ」になっていたら、「カードドライブ」に変更してください。
	本製品をリセットしてください。
PTR1 や PTR2 の CD から本製品の SD カードにバックアップできない	電源を入れた状態で USB ケーブルを繋ぎ直してください。
	PTR2 のドライブ設定が「カードドライブ」になっていたら「CD ドライブ」に変更してください。
	CD がファイナライズされていない場合は、PTR1 や PTR2 でファイナライズしてください。
	本製品をリセットしてください。

症状	対応のしかた
外付けの CD ドライブから本製品の SD カードにバックアップすると、途中で失敗してしまう。	バックアップ元の CD に傷や汚れが付着している場合、バックアップが中断される場合があります。CD の記録面に傷や汚れがないかを確認してください。
本製品の SD カード内の DAISY 図書を、PTR2 の CF カード（またはカードリーダーの CF カード）へバックアップしたが、それを PTR2 で再生することができない。または、音声ファイル（MP3）として再生されてしまう。	本製品の SD カード内の DAISY 図書に対して、メディア管理メニューの「編集準備」を実行してください。
パソコンのメディアプレーヤーを使って音声ファイルを作ったが、それを SD カードに保存したものを本製品で再生しようとしても再生できない。	作成した音声ファイルが WMA 形式になっていないか確認してください。本製品は WMA 形式に対応していません。MP3 形式で音声ファイルを作成し直してください。

音声ガイドと対応のしかた (再生)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「サポート外のカードです」 「サポート外のUSB デバイスです」	SD カードがフォーマットされていない。	SD カード内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。
	SD カード(USB メディア)が本製品に対応していない。	動作確認済 SD カード(USB メディア)を使用してください。
「タイトルが選ばれていません」	SD カードなどに何も記録されていない。	新しく図書などを記録してください。あるいは図書が記録されている SD カードを入れてください。
	SD カードが入っていない。またはＵＳＢ機器が接続されていない。	SD カードを入れてください。またはＵＳＢ機器を接続してください。
	現在選択中のタイトルを削除した。	別のタイトルを選択してください。または、別の SD カードを入れてください。
見出しまたはページに移動する時、「移動先の番号○が見つかりません」	指定した番号の見出し、またはページがない。	その DAISY 図書に存在する見出しまたはページを指定してください。
		別の見出しまたはページに移動してください。

アルバムまたはトラックに移動する時、「移動先の番号○が見つかりません」	指定した番号のアルバム、またはトラックがない。	その音声ファイルに存在するアルバムまたはトラックを指定してください。
		別のアルバムまたはトラックに移動してください。
「読み込みエラーです」	本製品が対応していない方式でフォーマットされたメディアである。	カード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。

音声ガイドと対応のしかた (録音)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「SD カードがありません」	SD カードが入っていない。	SD カードを入れてください。
「USB がありません」	USB 機器が接続されていない。	USB 機器を接続してください。
「録音できないメディアです」	録音先が SD カードになっていない。	録音先を SD カードにしてください。
	本製品が対応していない方式でフォーマットされた SD カードが入っている。	カード内容全消去を行ってから使用してください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されます。
	動作確認済 SD カード以外の SD カードが入っている。	動作確認済 SD カードを使用してください。（同梱の「動作確認済品一覧」を参照）

「SD カードがロックされています」	書き込み禁止になっている。	SD カードの書き込み禁止を解除してください。
「SD カードの空き容量が不足しています」	録音先のメディアの空き容量がない。	新しいメディアに録音してください。
「書き込みエラーです」	動作確認済メディアを使用していない。	動作確認済メディアを使用してください。（同梱の「動作確認済品一覧」を参照）
	録音中に SD カードを抜いた。	録音中には SD カードを抜かないでください。

音声ガイドと対応のしかた (メモ録)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「移動先の番号○が見つかりません」	指定した番号のメモ録がない。	そのメモ録に存在する番号を指定してください。
		別のメモ録に移動してください。
「空き容量がありません」	本製品内蔵メモリの空き容量がない。	不要なメモ録を削除してください。

音声ガイドと対応のしかた (バックアップ)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「書き込み禁止メディアです」	バックアップ先の SD カードまたは USB 機器が書き込み禁止になっている。	SD カードや USB 機器の書き込み禁止を解除してください。
「メディアの空き容量が不足しています」	バックアップ先のメディアの空き容量が足りない。	十分な容量のあるメディアに交換してください。

音声ガイドと対応のしかた (しおり)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「現在の場所にはしおりを設定できません」	先頭（最後）にはしおりは設定できません。	少し再生した位置（最後からは少し戻した位置）にしおりを設定してください。
「このタイトルにはしおりを設定できません」	メモ録にはしおりを設定できません。	本製品の仕様上、メモ録にはしおりを設定できません。

音声ガイドと対応のしかた (その他)

音声ガイド	原因	対応のしかた
「このタイトルは編集できません」	音声ファイルを編集しようとしている。	編集できません。 編集可能なメディア・タイトルで行ってください。
	図書館で借りたDAISY 図書を編集しようとしている。	
「アダプター異常です」	電源アダプターに異常が起きた可能性がある。	「アダプター異常です」という音声ガイドの後、自動的に電源が切れます。電源を入れ、再び「アダプター異常です」という音声ガイドがある場合には、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
「バッテリー異常です」	バッテリーに異常が起きた可能性がある。	バッテリーを交換してください。
	仕様に定められた範囲外の高温・低温環境下で使用された。	仕様に定められた範囲内の温度環境下で使用してください。
「不明なエラーです」	原因不明です。	繰り返し発生する場合は、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

１３章２ よくある質問 Q&A

質問	答え
DAISY 図書をバックアップする時に音質などを設定する必要がありますか？	設定の必要はありません。DAISY 図書の音声は元のデータと同じ音質でバックアップされます。
本製品から PTR2 の CD にバックアップできますか？	本製品から PTR2 などの外付け CD／DVD ドライブの CD にバックアップすることはできません。
複数のタイトルを一度にバックアップできますか？	できません。ひとつずつタイトルを選択してバックアップしてください。
しばらく使わずにいたらバッテリーが減っていたのですが、これは故障ですか？	故障ではありません。本製品は使わない場合でも少しずつ電力を消費します。
PTR2 の DAISY 図書 CD から本製品にバックアップする際に、PTR2 で２番目のタイトルを選んでから接続してバックアップすると、2 番目のタイトルとは別のタイトルがバックアップされてしまうのですが、これは故障ですか？	故障ではありません。タイトルの選択は PTR2 で行うのではなく、本製品でタイトルを選択してからバックアップしてください。

質問	答え
PTR1 の CF カードから本製品の SD カードにバックアップすることはできないのでしょうか？	PTR1 はカードドライブとしての機能がありませんので、本製品と接続しても PTR1 の CF カードのデータを読込むことはできません。市販のカードリーダーに CF カードを入れて本製品に接続すればバックアップは可能になります。
DAISY 図書をバックアップした際、バックアップした順番にタイトルが並んでくれないのですが、タイトルを並びかえるにはどうしたら良いのですか？	本製品は基本的にはフォルダ名で再生順を決める仕様になっています。パソコンでフォルダ名を ABC 順（辞書順）に変更してください。ただし、名前順に再生されない場合もあります。
インターネットでダウンロードした DAISY 図書を PTP1 で再生するにはどうしたらよいのですか？	パソコンでフォルダごと SD カードにコピーし、SD カードを本製品にセットして再生してください。

１４章　仕様

注意：仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
　　：時間に関する数値はすべておおまかな数値です。
　　：充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

製品名：プレクストークポータブルレコーダー
型番：ＰＴＰ１

全般的な仕様

項目	仕様
SD カードスロット	SD／SDHC 専用
再生可能 コンテンツ	DAISY2.0、DAISY2.02、 ANSI/NISO Z39.86/DAISY3.0 規格準拠の DAISY 図書、MP3、AMR-WB+、WAVE(PCM)、 CD-DA（外付け USB 接続の CD/DVD ドライブ）
DAISY 図書の再生可能音声ファイル	MP3、AMR-WB+、DAISY ADPCM2、PCM
録音方式	DAISY2.02
録音音声フォーマット	PCM 44.1kHz ステレオ、PCM 22.05kHz モノラル MP3 256kbps ステレオ、MP3 128kbps ステレオ MP3 64kbps モノラル、MP3 32kbps モノラル
メモ録 録音音声フォーマット	MP3 32kbps モノラル
音声入力	外部音声入力端子（外付けマイクおよびラインイン）（ステレオ） 内蔵マイク（モノラル）

音声出力	内蔵スピーカー（モノラル） ヘッドホン出力端子（ステレオ）
外部インターフェイス	USB 2.0 USB OTG (USB bus power)
時計精度	月差　±約 60 秒
電源アダプター	AC 100 V～240 V、50／60 Hz
寸法	縦 112 mm、横 55 mm、厚さ 16 mm
重量	約 110g
消費電力(最大)	20W
動作温度／湿度	5℃～40℃ ／ 20～80% ただし結露しないこと

オーディオ特性

項目	特性	
ヘッドホン出力端子（ライン出力）	適合インピーダンス	32Ω不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
外付けマイク入力端子（プラグインパワー）	入力インピーダンス	2.2ｋΩ不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
ライン入力端子	入力インピーダンス	20ｋΩ不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
内蔵スピーカー	出力インピーダンス	8Ω
	出力	150 mW
内蔵マイク	方式	コンデンサマイク

主要な機能

項目	仕様		
音声ガイド	操作を音声でガイド キー説明モードでのキー説明 メニュー説明 ５キーを押した時に情報をガイド		
検索機能	見出し、グループ、ページ、フレーズ、しおり、アルバム、トラック、レベル、段落、文、文字		
再生音量調整	０～２５		
ガイド音量調整	－５～＋５		
再生スピード調整	－２～＋８（１１段階）		
トーン調整	－６～＋６（１３段階）		
録音可能時間（SD カード、２GB）	DAISY 形式	PCM 44.1kHz ｽﾃﾚｵ	3 時間
		PCM 22.05kHz ﾓﾉﾗﾙ	12 時間
		MP3 256kbps ｽﾃﾚｵ	15 時間
		MP3 128kbps ｽﾃﾚｵ	30 時間
		MP3 64kbps ﾓﾉﾗﾙ	60 時間
		MP3 32kbps ﾓﾉﾗﾙ	120 時間
録音音量調整	自動音量調整 手動調整：０～２０		
メモリ機能	しおり、音声しおり：最大 10,000 個 音声しおり：最大 30 分 メモ録：最大 30 分、最大 200 個		

バッテリー

項目	仕様
種類	リチウムポリマー
寸法	縦 53 mm、横 39 mm、厚さ 9 mm
容量	1500 ｍＡｈ
充電時間	約４時間
使用可能時間	DAISY、MP3 録音：約８時間 DAISY、MP3 再生：約１０時間

カードドライブ仕様

項目	仕様
USB 転送レート	280 Mbps
対応 OS	Windows 2000, XP, Vista
カードタイプ	SD/SDHC カード
ファイルシステム	FAT-32/16

１５章　動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品

本製品に同梱されている「動作確認済品一覧」に、動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品に関する記載がありますので、そちらをご覧ください。

また、最新の情報は、プレクストークのホームページ
http://www.plextalk.com/jp/
をご覧になるか、または、プレクストークお問い合わせ窓口までご連絡ください。

１６章　保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から１年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- 取扱説明書に記載された警告、注意事項その他使用条件・方法と異なる使用をした場合。
- バッテリー、電源アダプターなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
- フロントパネル等の外面の損傷など。
- 不具合の原因が不適当と思われるご使用方法である場合。
- 不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
- 不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
- 不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
- 不具合の原因が光ピックアップ等の部品等の自然劣化・消耗の場合。※
- バッテリーの寿命による動作不良、停止。※
- 不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
- 弊社又は弊社が指定した者以外の者（個人、事業者を含みます）により改造、修理された場合。
- 本製品を第三者に譲渡した場合。
- 本製品より取り外した部品の修理。
- 修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。

- 保証書に必要事項の記載がない場合、または保証書の文言が書き換えられている場合。
- 本製品を日本国外で使用する場合。

注　※については、お買い上げ頂いた機種により適用対象外となります。

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。また、弊社の責に帰すべき理由により、お客様に損害が発生した場合であっても、弊社は直接かつ通常の損害についてのみ補償し、その金額は、本製品の購入価格を上限とさせていただきます。

ＳＤカード等のデータについて

ＳＤカード等のデータの破損・消失については、弊社は一切の責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。

１７章　お問い合わせについて

本製品を操作している時にトラブルが発生した場合は、まず「１３章　故障かなと思ったら」163 ページを参考にしながら対処してください。それでも、解決できない場合は、弊社までお問い合わせください。

お問合せ先
〒386-0012　長野県上田市中央 6-15-26
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話：０５７０－０６４１７７
なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－２１－７６１４に御連絡ください。
月～金　9:３０～１２:００、１３:００～１７:００
土・日・祝祭日は休業
ＦＡＸやＥ－ｍａｉｌは常時受け付けております。
ＦＡＸ：０２６８－２１－７６１１
Ｅ－ｍａｉｌ：plextalk@skcj.co.jp
ホームページ：http://www.plextalk.com/jp/

プレクストークホームページについて

プレクストークホームページでは、よくある質問やプレクストーク製品に関する最新の情報を提供しております。プレクストーク専用ホームページ
http://www.plextalk.com/jp/
をご利用ください。

索引

<記号、数字、A から Z>

＊キー（アスタリスクキー）・・・・・・・・・ 25
＃キー（シャープキー）・・・・・・・・・・・ 25
1 キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24, 45
5 キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24, 131-132
9 キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24, 84-92
0 キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25, 103
AMR・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67, 159
DAISY 図書・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31, 58, 159
DC 入力端子・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
MP3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67, 160
PCM・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67, 160
SD カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28, 46-49
　SD カード内容全消去(フォーマット)・・・・ 136-137
USB・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27, 52

<あ行>

空き容量・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
アルバム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
　アルバム移動・・・・・・・・・・・・・・・ 68, 70
アンドゥ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
移動キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
上キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
お休みタイマー・・・・・・・・・・・・・・・ 93
音質（トーン）・・・・・・・・・・・・・・・ 45

音質と録音時間・・・・・・・・・・・・・・・ 115
音声ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44, 45, 118, 146
音声しおり・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94, 96-101
音声ファイル・・・・・・・・・・・・・・・・ 67-70
音量
音量スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・ 29
再生音量の調整・・・・・・・・・・・・・・ 44
録音音量の調整・・・・・・・・・・・・・・ 110, 111

＜か行＞
ガイド音量・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44, 146
外部音声入力端子・・・・・・・・・・・・・・ 26, 119
キー説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29, 102
グループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
グループ移動・・・・・・・・・・・・・・・ 61

＜さ行＞
再生音量の調整・・・・・・・・・・・・・・・ 44
再生／停止・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
再生／停止キー・・・・・・・・・・・・・・ 22
再生設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133-134
最後に移動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
しおり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22, 94-101
しおりに移動する・・・・・・・・・・・・・ 98
しおりを削除する・・・・・・・・・・・・・ 99-100
しおりを付ける・・・・・・・・・・・・・・ 95
下キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
自動音量調整・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
自動電源 OFF・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

情報キー（５キー）・・・・・・・・・・・・・・ 24, 131-132
スピード（再生スピード）・・・・・・・・・・ 45
セクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
　セクション削除・・・・・・・・・・・・・・ 130
設定の初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143-144
先頭に移動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
外付けマイク・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26, 119-121

＜た行＞

タイトル
　タイトル移動・・・・・・・・・・・・・・・・ 50-51
　タイトルキー・・・・・・・・・・・・・・・・ 21, 50
　タイトルの作成・・・・・・・・・・・・・・・ 138
　タイトルの削除・・・・・・・・・・・・・・・ 139
　録音準備中のタイトル作成・・・・・・・・・ 75
ダイレクト移動
　アルバムにダイレクト移動・・・・・・・・・ 70
　先頭・最後にダイレクト移動・・・・・・・・ 65-66
　テキストファイル内のダイレクト移動・・・ 109
　トラックにダイレクト移動・・・・・・・・・ 69
　ページにダイレクト移動・・・・・・・・・・ 63
　見出しにダイレクト移動・・・・・・・・・・ 64
　メモ録にダイレクト移動・・・・・・・・・・ 78
追加録音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
テキストファイル・・・・・・・・・・・・・・・ 107
　テキストファイル内の移動・・・・・・・・・ 108-109
テキスト読み上げ音声の選択・・・・・・・・・ 147
テキスト読み上げの設定・・・・・・・・・・・ 151
テンキー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24-25

電源アダプター・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
電源キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20, 41, 43
トーン(音質)・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
時計設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149-150
トラック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
　トラック移動・・・・・・・・・・・・・・・・ 68-69

＜な行＞
日時の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132

＜は行＞
パソコンと接続・・・・・・・・・・・・・・・・ 104-106
バックアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82-92
バッテリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33-40
早送り・巻き戻し・・・・・・・・・・・・・・・ 57
左キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
ビルドブック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142
フォーマット（カード内容全消去）・・・・・ 136-137
フォルダ選択・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
フレーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
　フレーズ移動・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
プレクストークの情報・・・・・・・・・・・・・ 145
ページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
　ページ移動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62, 63
ヘッドホン出力端子・・・・・・・・・・・・・・ 26
ヘルプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
編集準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140-141

＜ま行＞
待ち受け音の選択・・・・・・・・・・・・・・・ 148
右キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

見出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
見出しに移動・・・・・・・・・・・・・・・ 60, 64
見出しを付ける・・・・・・・・・・・・・・ 126-128
見出しを取り消す・・・・・・・・・・・・・ 129
メディア・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
メディア・タイトル情報・・・・・・・・・・ 135
メニューキー・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
メニュー階層一覧・・・・・・・・・・・・・・ 152-154
メモ録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76-80

＜ら行＞
ラインイン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26, 119, 122-125
リドゥ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
レベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58-60
録音
録音音質・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113-116
録音音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110-112
録音可能時間・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
録音キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
録音設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113-118
録音中音量確認・・・・・・・・・・・・・・・ 112
録音中の音声ガイド・・・・・・・・・・・・・ 118
録音の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72-75
録音モード・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113-114, 116
録音モニタ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

メモ欄

お問い合わせ先

〒３８６－００１２
長野県上田市中央６－１５－２６
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話　０５７０－０６４１７７
なお、IP 電話、光電話をご利用の方は０２６８－２１－７６１４に御連絡ください。
月～金　９：３０～１２：００　１３：００～１７：００
土・日・祝祭日は休業

ＦＡＸやＥ－ｍａｉｌは、常時受け付けております。
ＦＡＸ：０２６８－２１－７６１１
Ｅ－ｍａｉｌ：plextalk@skcj.co.jp
ホームページ：http://www.plextalk.com/jp/

2009/5